

豊見城市立学校の学期制について

(答申)

平成 30 年 3 月

豊見城市立学校学期制審議会

目 次

1	はじめに	1
2	答申	3
(1)	豊見城市立学校の学期制の検討に係るアンケート	3
ア	保護者アンケート集計（全体）	3
イ	教員アンケート集計（全体）	5
(2)	これまでの市立学校二学期制に係る検証	6
ア	二学期制の成果について	6
イ	二学期制の課題について	7
(3)	今後の市立学校の学期制の在り方（本審議会の結論）	8
(4)	提言	8
3	おわりに	12
4	資料	13
(1)	諮問書	13
(2)	豊見城市立学校学期制審議会の開催日・内容等	14
(3)	審議会会議録（別冊）	16
(4)	豊見城市立学校の学期制の検討に係るアンケート	17
ア	アンケート実施概要	17
イ	保護者アンケート集計（全体）	17
ウ	教員アンケート集計（全体）	19
エ	保護者アンケート用紙	21
オ	教員アンケート	30
カ	保護者アンケート集計（詳細）	38
キ	教員アンケート集計（詳細）	50
(5)	豊見城市立学校学期制審議会規則	63
(6)	豊見城市立学校学期制審議会委員名簿	64

1 はじめに

豊見城市においては、平成 14 年度から始まった学校完全週 5 日制や「生きる力」をキーワードにした学習指導要領の改訂を踏まえ、平成 17 年 4 月より市内公立小中学校において、二学期制を導入¹した。

本市における二学期制導入の趣旨は、学校完全週 5 日制や学習指導要領の改訂に対応するべく、授業や学校行事のあり方などについて創意工夫を凝らし、授業時数の確保を図りながら子供達の学習をこれまで以上に充実させ、補習学習や発展学習などの指導を確実に実施するとともに、適切できめ細かな評価を行うなど教育効果を高めることを目指したものであった。

その後、平成 20 年度に学習指導要領が改訂され、「生きる力」を育成する基本理念は変わらないものの、年間授業時数は増加し、「ゆとりと充実」から「確かな学力の向上」へとその背景も変化してきた。

また、本県では 10 余の自治体において、本市と時期をほぼ同じくして二学期制移行がされていたが、教育環境の変化や保護者からの声等を理由に、6 市町村が三学期制へ再移行している。

本市においても、二学期制導入から 12 年経過していることや、二学期制の成果と課題について検証の必要があること、更には今般の学習指導要領の改訂などの教育環境の変化などを踏まえ、改めて今後の学期制のあり方を検討することとし、平成 28 年 11 月には、現状把握を行うための二学期制検証委員会を庁内に設置し、保護者及び教職員に対しアンケート調査を行い基礎資料の作成を行ってきた。

豊見城市立学校学期制審議会（以下「審議会」という。）は、このような状況を踏まえ、市教育委員会の附属機関²として設置された。以来、審議会に諮問された「これまでの市立学校二学期制に係る検討」及び「今後の市立学校の学期制の在り方」について、様々な観点から審議³を行ってきた。

ここに、平成 29 年 7 月から翌年 2 月までの 7 回にわたる審議⁴を踏まえ、この答申をまとめ、市教育委員会へ報告するものである。

1 導入経緯等 P2 参照

2 審議会規則 P9 参照

3 諮問書 P5 参照

4 (2) 豊見城市立学校学期制審議会の開催日・内容等 P6～参照

本市における二学期制導入の経緯等

年度	実施状況等
平成 14 年度	・全国における完全学校週休 5 日制実施
平成 15 年度	・二学期制検討委員会設置について協議
平成 16 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・二学期制検討委員会（5 月の第 1 回から計 7 回） ・二学期制検討委員会の最終報告を受け保護者に対する説明会を各学校で実施 ・「豊見城市立学校管理規則」の改正を行う
平成 17 年度	・市立全幼稚園・小中学校（幼稚園 8、小学校 6、中学校 3）で 2 学期制実施
平成 28 年度	・実施から 11 年を経過したことを機に、庁内に「豊見城市立学校二学期制検証委員会」を設置し、11 月の第 1 回から計 4 回会議を開催し、アンケートの実施・集計を行った。
平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・豊見城市立学校学期制審議会規則制定（6 月） ・豊見城市立学校学期制審議会（7 月～2 月 計 7 回開催）

2 答申

本市では、市立全幼稚園及び小中学校で「二学期制」が実施されてから 12 年が経過している。

本審議会では平成 29 年 7 月に市教育委員会の諮問を受け、これまでの市立学校の学期制に係る検証及び今後の学期制の在り方について、独自に教員や保護者を対象にアンケート調査を実施するとともに、「二学期制導入のねらいに基づいた検証」、「今後の学校教育に関わる環境・状況と照らし合わせた検証」の二つの視点から学校の現状や保護者の考え、本市や国の教育施策などに関連付けて、7 回にわたる慎重な審議を重ねてきた。

その結果は、次のとおりである。

(1) 豊見城市立学校の学期制の検討に係るアンケート

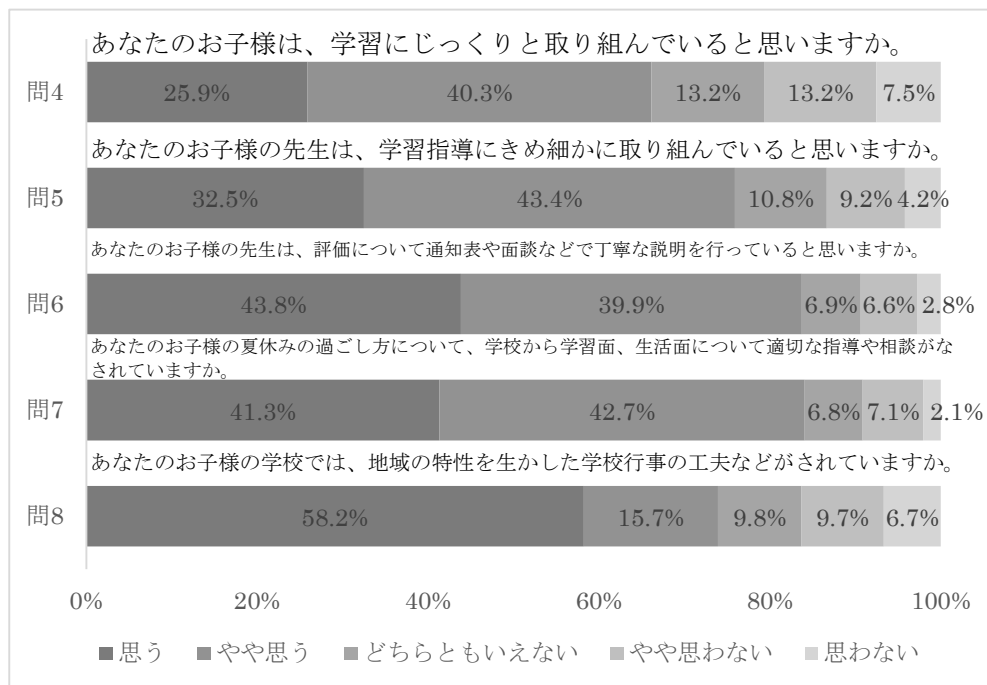
本審議会では、学期制検討の基礎資料とするため、平成 29 年 11 月から保護者及び教員を対象にアンケートを実施した。(P17～)

保護者は 72.9% (2,900 件)、教員は 88.6% (376 件) の回収率であった。

アンケートの集計概要は、次のとおりとなっている。

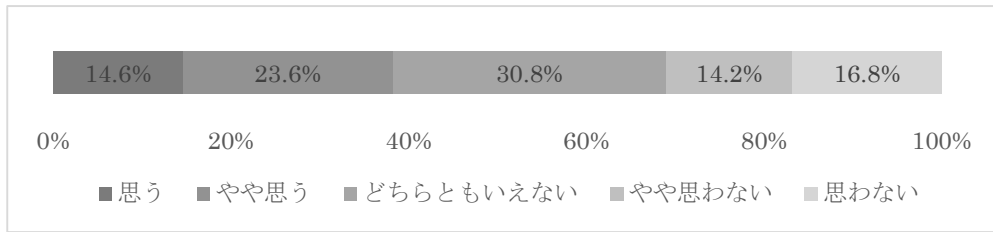
ア 保護者アンケート集計 (全体)

- ・これまでの二学期制について

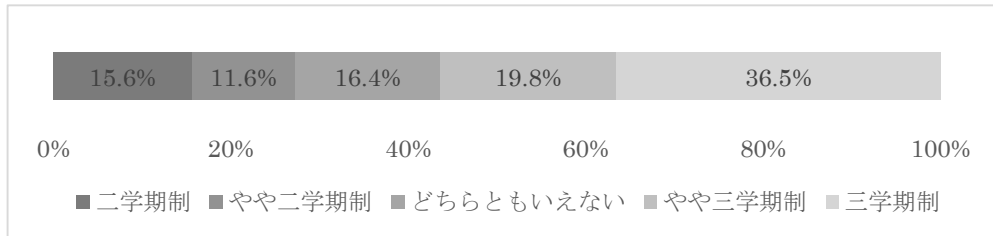


- ・これからの学期制について

問 9 二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。

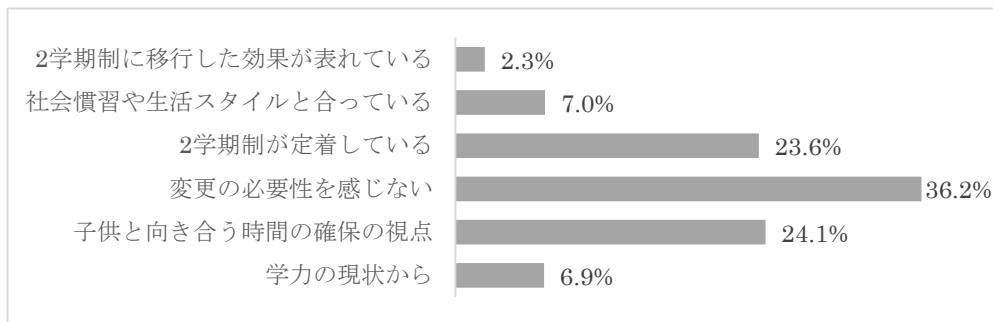


問 10 二学期制と三学期制のどちらに賛成か。

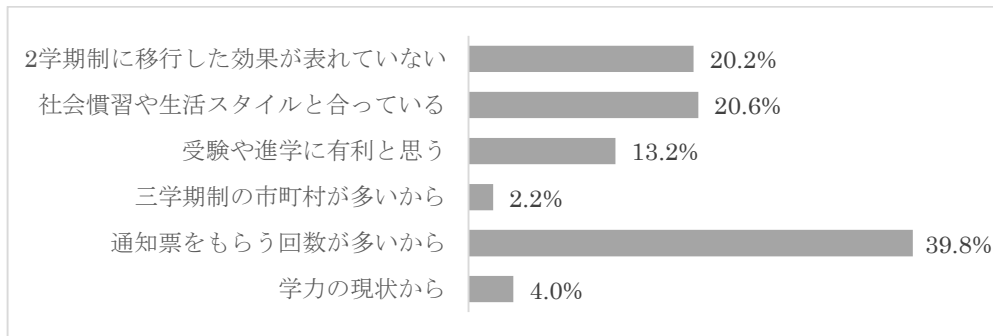


問 11 賛成の理由

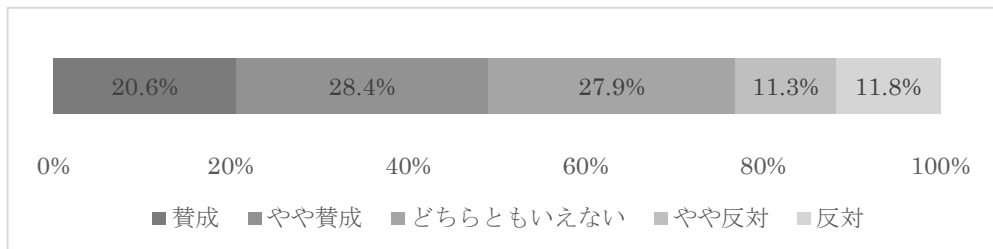
二学期制に賛成、やや賛成の理由



三学期へ賛成、やや賛成の理由

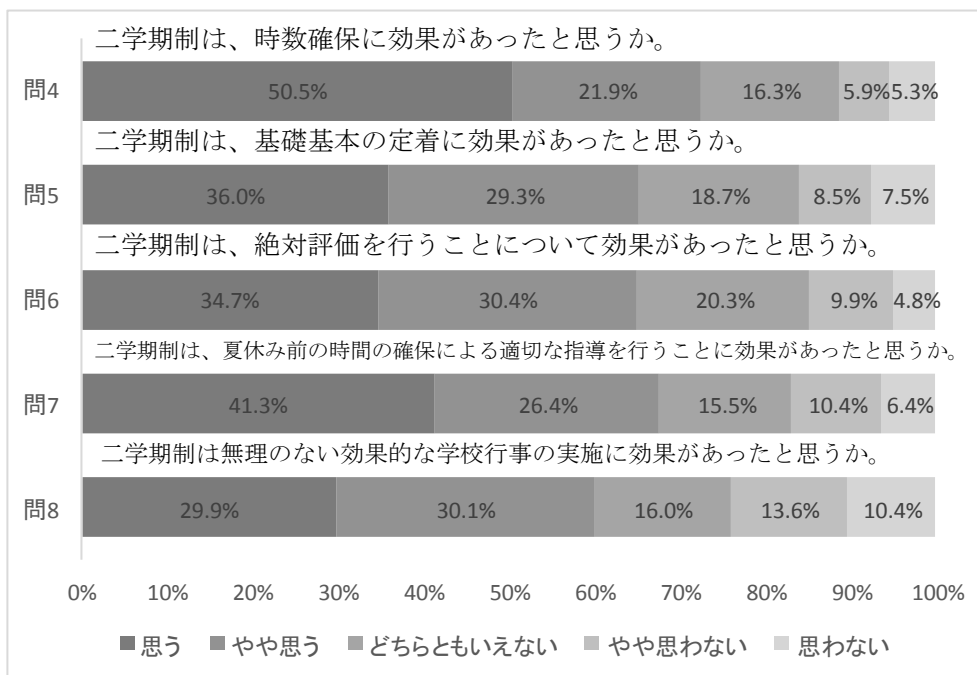


問 13 学期制の検討に連動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。



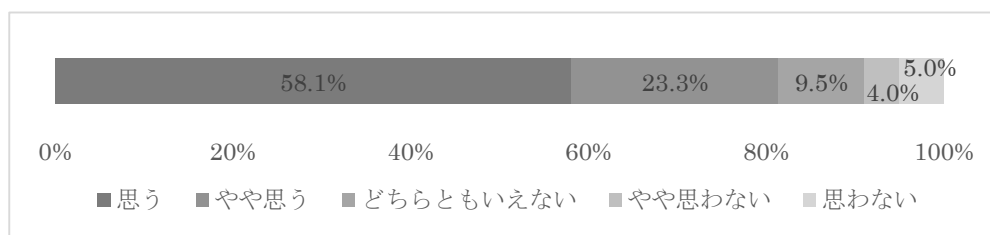
イ 教員アンケート集計（全体）

・これまでの二学期制について

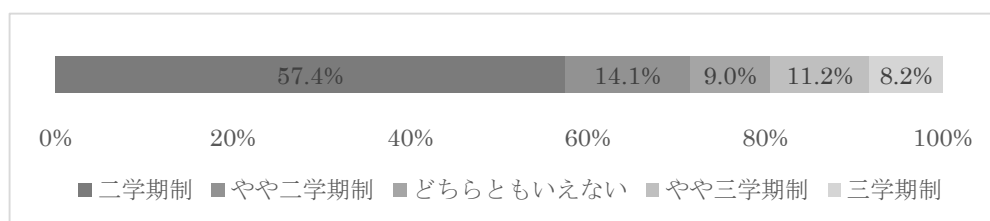


・これからの学期制について

問9 二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。

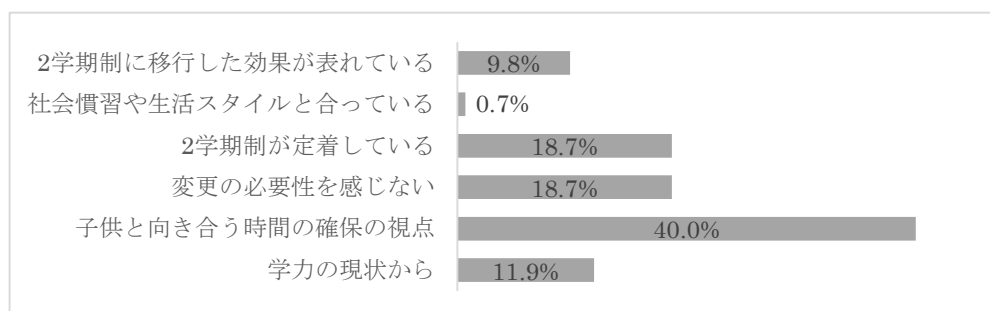


問10 二学期制と三学期制のどちらに賛成か。

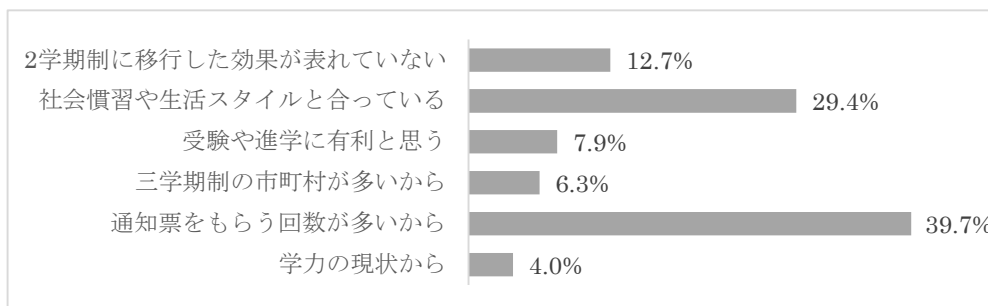


問11 賛成の理由

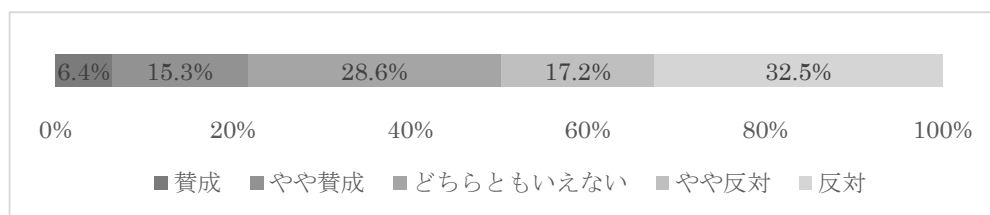
二学期制に賛成、やや賛成の理由



三学期へ賛成、やや賛成の理由



問 13 学期制の検討に連動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。



(2) これまでの市立学校二学期制に係る検証

ア 二学期制の成果について

保護者アンケートでは、二学期制導入時に期待された効果を問う質問（問4～問8）については、各問ともに過半数の保護者が肯定的な回答となっている一方で、二学期制又は三学期制どちらに賛成かとの質問（問10）では、教員アンケートとは対照的に、過半数（56.3%）が三学期制に賛成となっており、その理由のうち、39.8%が「通知表をもらう回数が多いから」、20.6%が「社会習慣や生活スタイルと合っている」、20.2%が「二学期制に移行した効果が表れていない」となっている。これらのことから、おおむね二学期制の効果については肯定している一方、保護者の多くが在学中三学期制のみを経験している状況や夏休み前の通知表を重要視していることなどから、このような結果となっているものと考えられる。

一方、教員アンケートにおいては、二学期制導入時に期待された効果を問う質問（問4～問8）については保護者と同様な結果となっている。二学期制又は三学期制どちらに賛成かとの質問（問10）では、二学期制についての賛成が71.5%となっており、その理由では40%が「子どもと向き合う時間の確保の視点」となっている。さらに、教員の多忙化の改善での二学期制の効果（問9）については、81.4%が効果があったと回答している。

これらのことから、課題はあるものの、おおむね保護者、教員ともに二学期制は成果があったものと評価していることが確認できる。

イ 二学期制の課題について

本市の二学期制については、おおむねその成果について確認できたところであるが、若干の課題も存していることが審議の過程で明らかとなった。

主な課題は、おおむね次のようなものであった。

(ア) 夏休み前の教育相談の意義や説明資料等の改善の必要性

学校においては、夏休み前の通知表にかわり各種資料を利用した教育相談や生徒指導を実施してきたところであるが、保護者アンケートからみると、面談や通知表での丁寧な説明や夏休みの過ごし方についての指導や相談（問6・問7）がなされているかとの問いについては8割の保護者が「思う・やや思う」と回答している。

しかし、依然として夏休み前の通知表を希望し、三学期制に賛成とする保護者が過半数（56.3%）となっている。学校においては、夏休み前の教育相談や生徒指導の取組の意義などについてより丁寧な説明や通知表にかわる説明資料の改善が求められている。

(イ) 中学校における評価方法や内申への反映についての説明の必要性

本市中学校における定期テストは、年間4回となっており、他の三学期制の学校での年間5回と比べて1回少ないことや定期テストの出題範囲が比較的広くなること⁵などから、生徒の負担が大きく、学習意欲と学力に影響が生じ、そのため進学に向けた内申に影響があるのではないかという保護者の不安が保護者アンケートから読み取れる。

中学3年生の内申については、審議会の審議において、「進学に当たっては最新の成績を内申の基礎資料としていること」、「定期テストだけでなく単元テストや日常的な確認テスト等も含めて成績をつけていること」の二点において、二学期制、三学期制の違いはないことが確認されたが、中学生の保護者の中には、前掲の不安があることを踏まえ、中学校において進学に向けた生徒の評価方法などについてより保護者に理解を得られるような取組が求められること。

(ロ) 長期休み（夏休み、秋休み）の在り方や設定について

長期休みについては、保護者アンケートによると秋休みの期間やその必要性について疑問との意見が多く、他には、家族の休みになりにくいことや、幼児児童のいる家庭での日中の預け先に関連して安全面の不安等の意見も多く見られた。

⁵ 本市の中学校の定期テスト計画では、60日～80日ほどの間隔、地区内の3学期制の中学校では、30日～75日ほどの間隔で定期テストを実施している。

夏休みについては、学期の途中で長期休みをはさむことによる学習の継続の問題点の指摘や、夏休みを短縮して普段の学校生活にゆとりを確保するなどの提案がある一方、夏休み期間をしっかりと確保してこの時にしかできない体験や学びの期間とすべきという意見等についても若干数みられる。

また、保護者アンケートの夏休みの期間見直しに関する質問（問13）では、賛成及びやや賛成合わせてほぼ半数（49%）が見直しを支持している状況にある。一方教員アンケートにおいては、反対及びやや反対を合わせてほぼ半数（49.7%）を占めている。

本審議会においては、学期制の評価と今後の学期制の在り方を主たる審議内容としていたこと、更には長期休みの見直し等については学期制の有り様を前提として議論する必要があることから、この課題のみを取り上げての議論は行わなかった。

今後、市教育委員会において二学期制の継続の中で、よりよい長期休みの在り方について議論することを期待することとし、後述の提言において、その検討を要望するものである。

(3) 今後の市立学校の学期制の在り方（本審議会の結論）

本審議会では、学習指導要領の改訂に伴う授業時数が増加する状況⁶、前述の二学期制の成果やその課題等を踏まえ、次に掲げる提言を踏まえた実効策を講ずることを市教育委員会及び学校に要望し、二学期制を継続することを適当と結論する。

(4) 提言

本審議会では、二学期制の継続を結論としたが、保護者や地域の方々の中には、通知表の回数や、中学校にあっては受験に向けた評価方法への不安などから、保護者アンケート全体では過半数が三学期制を希望している状況が確認されているなど、上述のとおり二学期制に係る課題も審議の過程で確認されている。

市教育委員会及び各学校においては、次の3つの提言に基づき、実効性のある手立てを講ずることを本審議会として強く望むものである。

提言 1 学校においては、保護者のアンケートを踏まえ、夏休み前における通知表に準じた面談資料等の作成などの工夫改善を行い、より充実した教育相談に向けた取組を図る。

⁶ 新学習指導要領の下での教育課程が、小学校では平成32年度から、中学校においても平成33年度から実施となっている。特に小学校においては、外国語活動の教科化による年間授業時数の増加（年間70時間）で週時間割の過密化が大きな課題となっている。

現在行われている目標に準拠した評価（絶対評価）は、学習目標に対して、どれだけ達成しているかを示すものであり、知識・理解だけではなく、技能や思考、関心・意欲・態度など多くの観点から評価を行うものである。信頼性や妥当性を確保して評価を行うためには、学習のスパンを十分に確保することのできる二学期制がよりふさわしい。また、授業時数の少ない教科では、特にその効果が大きい。

しかし、夏休みに入る機会に通知表を出してほしいという保護者の願いは強い。

一方、夏休み前に通知表を作成しないことによる時間的な余裕から、夏休みの過ごし方等について、より丁寧な指導がなされていることや、サマースクール等の学力向上の取組や準備がしっかりとなされていることなど、生み出された時間が効果的に活用されていることも多くの関係者に理解されているところである。

本審議会では、以上を踏まえ、通知表の回数は2回を維持しながら夏休み入りの前後に行われている保護者面談等の機会を、より丁寧に行うこと⁷や7月末現在のテスト等の結果、評定を含んだもので、所見等の文章をつけない形での通知表に準じた面談資料等の作成することを提言する。

提言 2 新学習指導要領の完全実施に伴う授業時間数の増加やキッズウィーク導入等を視野に入れ、夏休みや秋休みなどの長期休業日のあり方について、保護者等に広く意見を求めて具体的な検討を行うこと。

保護者からの秋休みに対する声としては、期間が中途半端であるというものや子供が休みでも保護者は休みをとることができないというもの、期間中の子供の預け先に困惑していることや、関連して子供の安全を保つことができない等の意見が多くあり、有効に活用している等の肯定的な意見は少数である。

夏休みについては、学期の途中に長期休みをはさむことによる学習の継続の問題点の指摘や、夏休みを短縮して普段の学校生活にゆとりを確保するなどの提案等、逆に夏休み期間をしっかりと確保してこの時にしかできない体験や学びの期間とすべきという意見等が若干あるが、秋休みに比べ夏休みそのものに対する意見は少ない。

⁷ 具体的には、発達段階や進路指導の過程等の状況により、①十分な時間の確保、②公平な時間設定、③学習状況について現状と今後の課題（特に夏休みの取組につながるように）、④学校生活全般、⑤その他行事や諸活動、提出物等家庭との連携について、それぞれの学校が、児童・生徒・保護者に対して積極的に伝え、その意義などを含め理解を得るという姿勢で臨んでいくことを旨として取り組むことが求められる。

また、新学習指導要領の下での教育課程が、小学校では平成 32 年度から、中学校においても平成 33 年度と実施目前のところである。特に小学校においては、外国語活動の教科化による年間授業時数の増加で週時間割の過密化が大きな課題となっている。

他府県の事例では、土曜日授業や平日の 7 時間授業日の設定、近隣においても長期休み期間中の後半数日を課業日とすることで、年間を通して授業時数に不足の出ないような取組を実施する自治体もあり、さらに、政府からの提案として平成 30 年度から、全国一律一斉ではないものの、県や市町村などの単位で長期休業日（例えば現在の夏休み）の一部を他の時期に分散して設定するキッズウィークなどへの対応の課題もある。

これらのことを踏まえ、本審議会としては、夏休みや秋休みなどの長期休業日のあり方について、保護者等に広く意見を求めて具体的な検討を行うことを提言するものである。

提言 3 中学校においては、これまで以上に二学期制を生かした教育計画を策定し、生徒の評価方法について保護者へのより丁寧な説明を行い、理解を得られるような取組を行うこと。

多くの三学期制の学校で年間 5 回行っている定期テストについて、本市の中学校では年間 4 回行っている。このことについて、回数が少ないとテスト範囲が広くなり、生徒の負担が大きく、学習意欲と学力に影響が出るのではないかとということと、その理由で低下した評価と連動した内申は、三学期制の短い範囲で実施した定期テスト結果による内申に比べ不利となり、進学に影響するという保護者の不安が見られる。

本市の中学校の定期テスト計画を見ると、60 日～80 日ほどの間隔、地区内の 3 学期制の中学校では、30 日～75 日ほどの間隔で定期テストを実施しているので、定期テスト回数が少ないことでテスト範囲が広くなることについては事実といえる。

しかし、定期テストは評価の材料のひとつであり、現行の絶対評価においては、日常的な授業の中での学習の様子、レポートや作品等の提出物、単元毎の小テスト、技能面や関心・意欲・態度等により総合的に評価が行われなければならないが、実際の評価においてもそのように取り扱われているものである。

本審議会としては、以上を踏まえ、各中学校において、今後更に指導と評価のあり方、評価資料の集積についての研究や校内での理解を図る努力を続けていくこと、そして何より、不安をもつ生徒や保護者に対して丁寧な説明を行うことで理解を図っていく取組が重要であると考え。さらに、長いスパンで教育活動を

計画実施できる二学期制の優位性を生かし、学校行事や課外活動との時間的なバランスや内容的な重み等を考慮した、二学期制ならではの教育計画の下での学校運営を要望するものである。

3 おわりに

審議会では、「これまでの市立学校の二学期制に係る検証について」及び「今後の市立学校の学期制の在り方について」議論を重ね、これまでの審議結果を「答申」として、課題の解決に向けた「提言」を行った。

審議会においても、二学期制と三学期制いずれが適切かについて多くの時間を割いて議論をおこなった。また、審議の基礎資料として保護者と教員のアンケートを実施し、意向と課題の把握に努め、前述のとおり二学期制の継続を本審議会の結論としたところである。

今後、本審議会の答申を受け、市教育委員会にあっては今後の学期制の在り方を定めるものであるが、「小学校における外国語の教科化及び外国語活動の実施」や「本県の中学生の学力向上」、「教員の働き方改革」、「中学校の部活動のあり方」などの教育改革や社会情勢の変化について注視し、よりよい学期制となるよう努めていただきたい。

結びに、この答申及び提言を踏まえ、市教育委員会、各学校及び校長会等の関係機関においては、二学期制の効果が最大限生かされ、市民の期待に応える質の高い学校教育を実現するために、必要な施策を実施していくことを強く望むものである。

4 資料

(1) 諮問書

豊教学学 818 号
平成 29 年 7 月 24 日

豊見城市立学校学期制審議会長 殿

豊見城市教育委員会
教育長 照屋 堅



豊見城市立学校の学期制について（諮問）

豊見城市立学校学期制審議会規則（平成 27 年豊見城市教育委員会規則第 4 号）
第 2 条の規定に基づき、下記の事項について諮問します。

記

- 1 これまでの市立学校 2 学期制に係る検証について
- 2 今後の市立学校の学期制の在り方について

以上

(2) 豊見城市立学校学期制審議会の開催日・内容等

第1回 平成29年7月24日(月) 15:00~17:00 市役所3F第3委員会室

- 1 委嘱状交付
- 2 会長・副会長選任
会長 白尾 裕志
副会長 森 力
- 3 諮問
- 4 審議
 - (1) 「審議会の目的」、「豊見城市2学期制までの経過及び県内他市町村の状況」の説明
 - (2) 二学期制検証委員会における検討内容報告
平成28年度、2学期制検証委員会により実施された教職員対象及び保護者対象の2学期制に対するアンケート調査(教職員対象、保護者対象)の結果について報告
- 4 次回に向けての検討事項
 - (1) 記述意見を整理しての再提示(分類は次によること。)
 - ア 児童生徒の学力に関すること
 - イ 生徒指導について(行事を含む。)
 - ウ 児童生徒の休養について
 - エ 教員の働き方について
 - (2) 二学期制実施の他市町村について現状の調査結果報告
 - (3) 保護者アンケートの調査数について報告
 - (4) 全国学力学習状況調査の本市経年データ報告

第2回 平成29年8月29日(火) 15:00~17:00 市役所3F第2委員会室

- 1 審議
 - (1) 報告
 - ア 県内で2学期制実績のある他市町村(13市町村)について現状の調査結果報告
 - イ 平成28年度に実施した保護者アンケートについて、1世帯が幼小中別に回答しているものが一定数あることの報告及び共通確認
 - ウ 全国学力学習状況調査の本市経年データの報告
 - エ アンケート記述意見について
 - (ア) 児童生徒の学力に関することについて
 - (イ) 生徒指導について(行事も含め)
 - (ウ) 児童生徒の休養について
 - (エ) 教員の働き方について
 - (2) 意見交換
 - ア 夏休み前に評価を得たい保護者の根強い意識
 - イ 夏休みの過ごし方
 - ウ 再調査(アンケート)について
- 2 次回に向けての検討事項
 - (1) 再調査に向けて保護者、教職員向けアンケート(案)提示

第3回 平成29年9月26日(火) 15:00~17:00 市役所5Fホール会議室

1 審議

(1) 再調査(アンケート)について提案

- ア アンケート回答に当たっての参考資料について
- イ アンケート設問について

2 次回に向けての検討事項

(1) 二学期制導入当時のアンケート結果の提示

(2) アンケート回答に当たっての参考資料の訂正(挿入・削除等)

- ア 「2 二学期制導入で期待された効果(導入のねらい)」の引用元・時期の明示
- イ 内容を見やすくするため項目見出しのフォント拡大
- ウ 授業日数、休業日数に関連する箇所全削除(主に6ページ)
- エ 二学期と三学期比較表の内容について、事実を端的に記述することに徹し、その事実に対する判断は回答者に委ねるという立場での修正を行うこと。
- オ 中学校の部活動の項を削除し、学校行事を挿入すること。
- カ 二学期制実績のある他市町村の状況資料を挿入すること。
- キ アンケート設問について

第4回 平成29年10月18日(水) 15:00~17:00 市役所3F第1委員会室

1 審議

(1) 第3回審議会における意見を反映した再調査(アンケート)案の検討

- ア アンケート回答に当たっての参考資料について
- イ アンケート設問について

2 次回に向けての検討事項

(1) アンケート再度訂正(字句修正・挿入・削除・全体の体裁整え等)確認

(2) アンケート依頼から回収、集計処理について

- ア 次回審議会でも中間報告(次々回の審議会でも全報告)
- イ 回収率を極力上げる努力・工夫を行う

第5回 平成29年12月13日(水) 15:00~17:00 市役所2F第2会議室

1 審議

(1) 学期制調査アンケート結果(中間)について

- ア 中間報告資料構成について
- イ 教職員アンケート結果報告(全体及び校種別)について
- ウ 保護者アンケート結果報告(小学校及び中学校)について

(3) 新学習指導要領の実施と学期制について

2 次回に向けての検討事項

(1) 学期制三案(現行二学期制、新二学期制、従来型三学期制、新三学

期制) について比較資料作成
(2) 学期制調査アンケート結果最終報告

第6回 平成30年1月24日(水) 15:00~17:00 市役所3F 第1会議室

1 審議

(1) 保護者アンケート(幼稚園、小学校、中学校)報告

ア 二学期制はほぼ肯定されているものの半数以上の保護者が三学期制に賛成

イ 二学期制を継続する場合は、三学期制を支持する理由に対して応える必要あり(通知表についての思い、受験や進学への不安に対する十分な説明)

ウ 二学期制に対する評価は二学期制そのものというより、現在の学校や先生への評価となっているのでは?

(2) 新二学期制案、新三学期制案について

ア 現行の学期制を基本とする。評価資料については、その説明を含め学校独自の工夫改善を図るようにする。

イ その他

(ア) 次回審議会での玉城委員、柳井委員からは、評価(評価資料の改善、面談の方法・内容等)の具体的な案の提示

(イ) 答申後の議事録、アンケート結果の公開検討

2 次回に向けての検討事項

(1) 答申案の提示

第7回 平成30年2月20日(火) 15:00~17:00 市役所2F 第1会議室

1 審議

(1) 豊見城市立学校学期制審議会答申(案)について

ア 答申案の構成、案文の検討

イ 提言の内容の検討

イ その他の調整・修正等

2 検討事項

(1) 答申は、今回の審議内容を踏まえた修正を行うこと。

(3) 審議会会議録(別冊)

別冊のとおり。

(4) 豊見城市立学校の学期制の検討に係るアンケート

ア アンケート実施概要

(ア) アンケート目的

二学期制導入時に期待された効果等が得られたのかなど、本市のこれまでの二学期制の取組状況や今後の学期制についての意向を把握し、今後の学期制検討の基礎資料とする。

(イ) アンケート対象

- a 豊見城市立幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒の保護者(世帯単位)
- b 豊見城市立幼稚園・小学校・中学校の教員

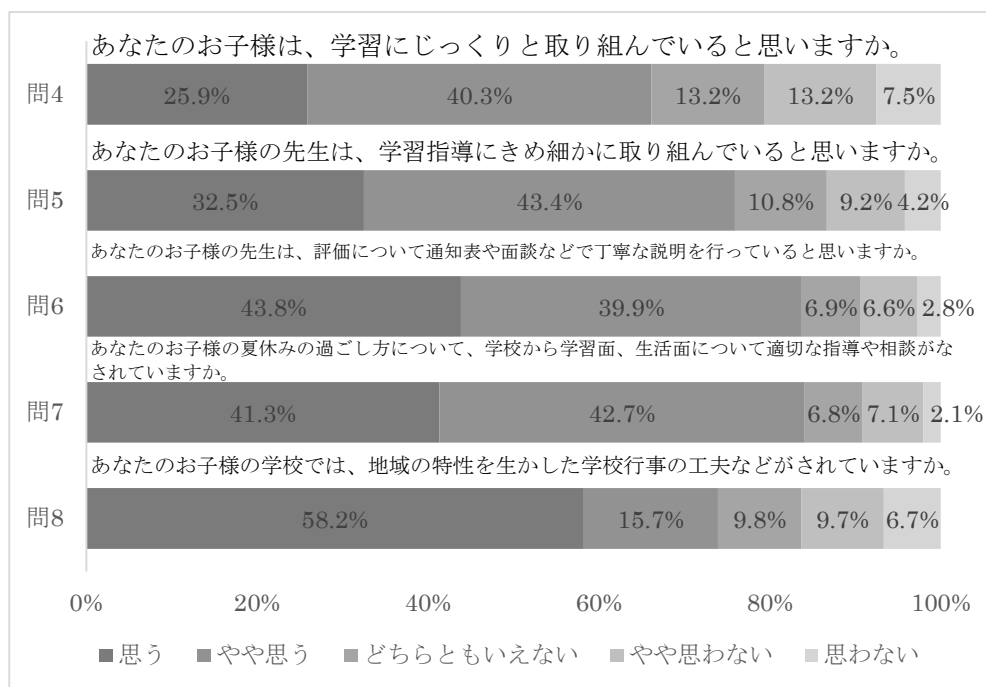
(ウ) 実施時期 平成 29 年 11 月～12 月

(エ) 回収状況

	対象者数	回答者数	回収率
保護者	3977	2900	72.92%
教員	424	376	88.68%

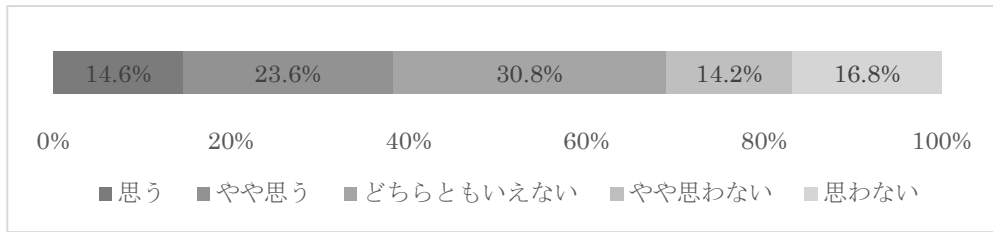
イ 保護者アンケート集計 (全体)

・これまでの二学期制について

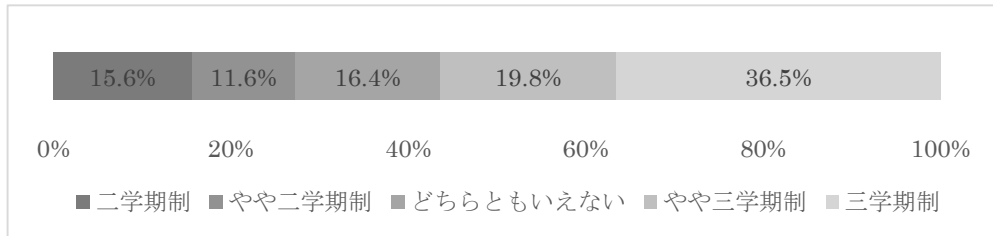


・これからの学期制について

問9 二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。

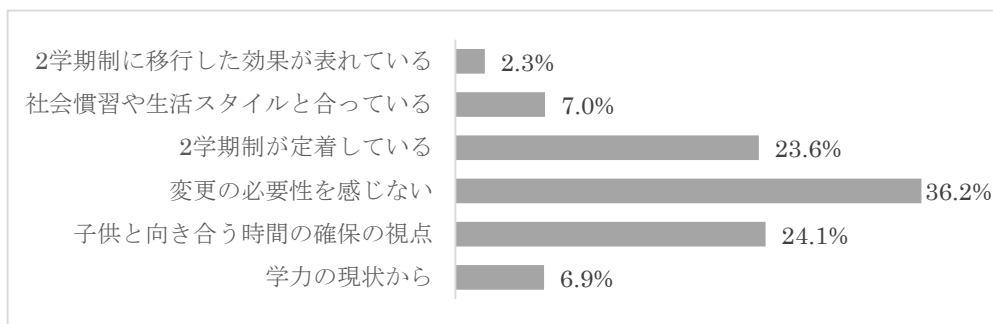


問 10 二学期制と三学期制のどちらに賛成か。

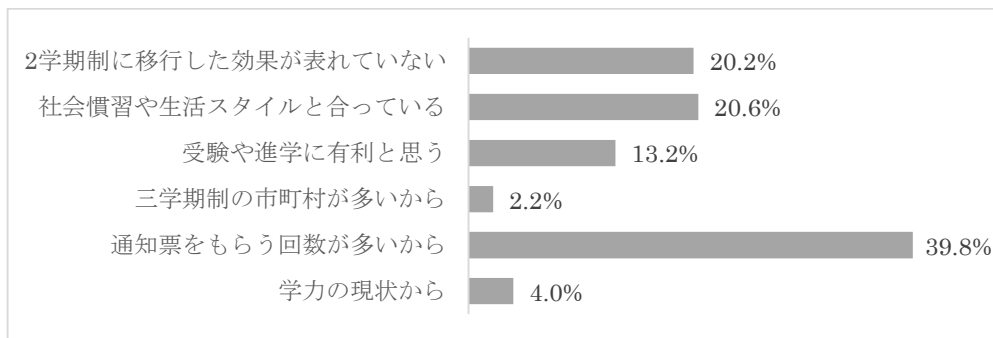


問 11 賛成の理由

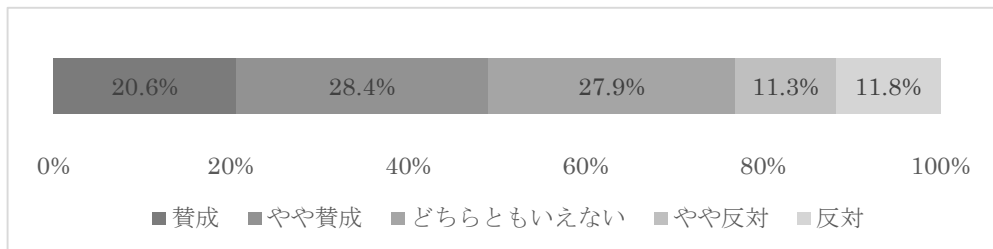
二学期制に賛成、やや賛成の理由



三学期へ賛成、やや賛成の理由

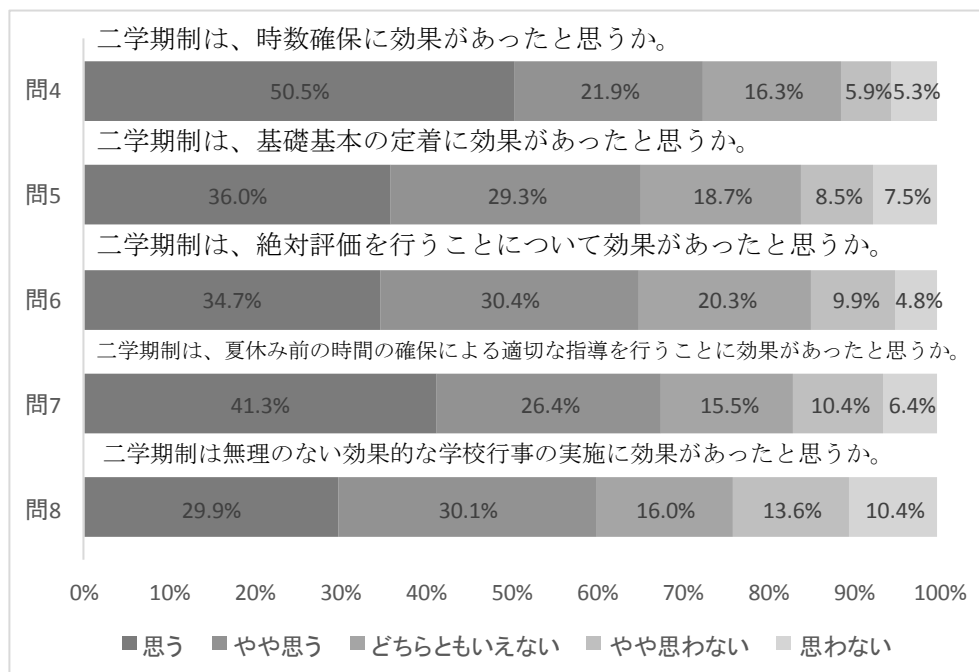


問 13 学期制の検討に連動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。



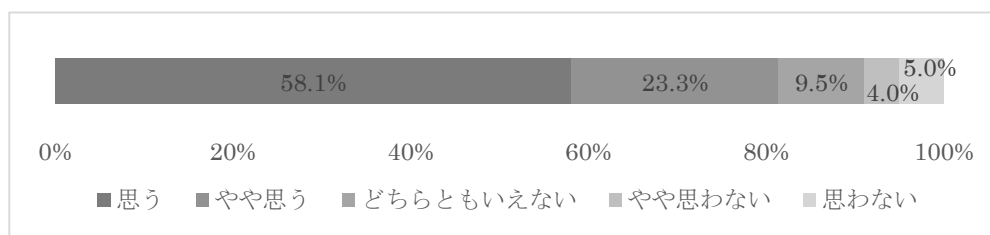
ウ 教員アンケート集計（全体）

・これまでの二学期制について

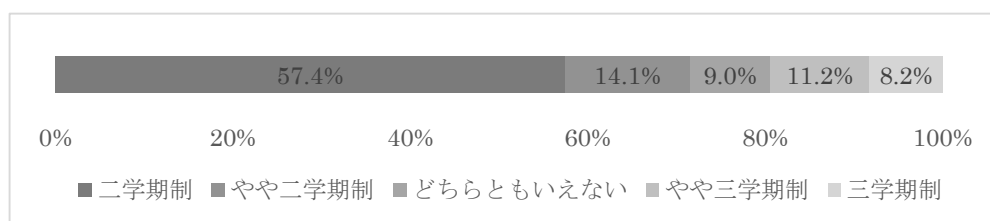


・これからの学期制について

問9 二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。

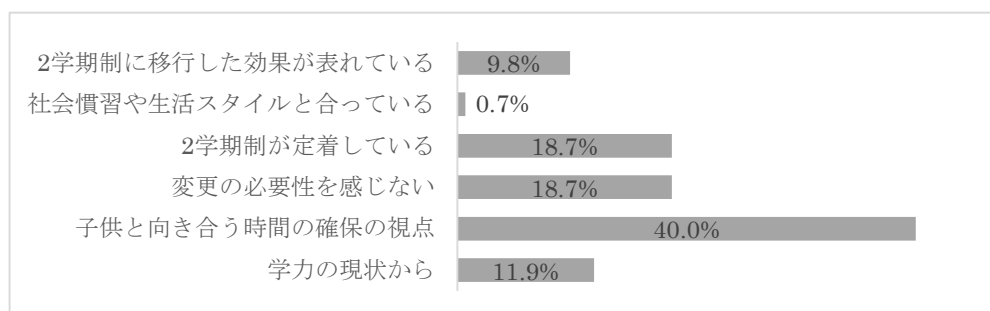


問10 二学期制と三学期制のどちらに賛成か。

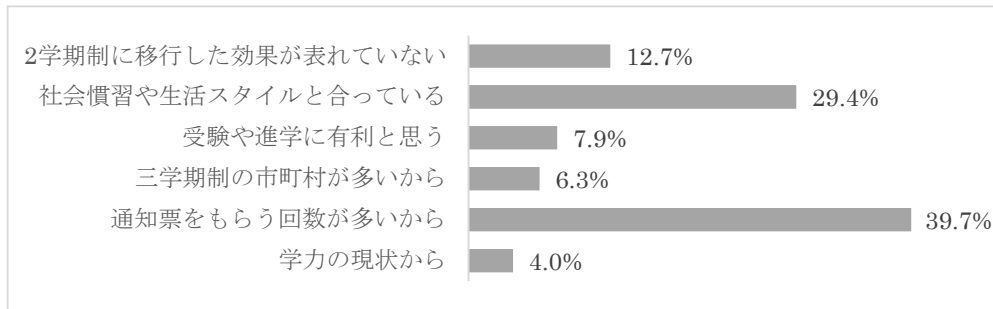


問11 賛成の理由

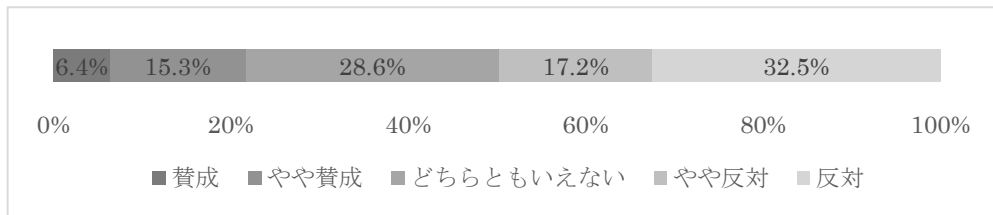
二学期制に賛成、やや賛成の理由



三学期へ賛成、やや賛成の理由



問 13 学期制の検討に連動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。



豊見城市立学校の学期制の検討に係る 保護者アンケートご協力をお願い

本市では平成 17（2005）年度より市内全幼稚園、小学校及び中学校が三学期制から二学期制へ移行しております。今年度は、外部有識者などで構成される豊見城市立学校学期制審議会において二学期制の検証と今後の学期制の在り方について審議を進めているところであります。

このアンケートは、保護者の皆様を対象に、二学期制導入当時に期待された効果等が得られたのかなど、本市のこれまでの二学期制の取組み状況や今後の学期制についてのご意向を把握し、今後の学期制についての検討の基礎資料とすることを目的として実施するものであります。

つきましては、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をくださいますようお願いいたします。

- 1 提出期日 平成 29 年 12 月 7 日（木）
- 2 提出先 学級担任

ご記入上のご留意点等

- 1 このアンケートは、世帯を単位として世帯の代表者
がご回答ください。（ご家族で相談いただいても結構
です。複数の幼児・児童・生徒がいらっしゃる場合、
このアンケートが複数届くことがあるかと思えます
が、アンケートは 1 世帯 1 通で回答し、年少のお子
様へ持たせてください。）
- 2 質問項目は、設問ごとに該当する箇所に○を記入く
ださい。
- 3 回答の前に次頁の「本市の二学期制の経緯とこれま
での取組みについて」をお読みください。
- 4 本調査にご不明な点がありましたら下記までご連
絡ください。

豊見城市教育委員会 学校教育部 学校教育課 ☎098-850-0035

本市の二学期制導入の経緯とこれまでの取組みについて (アンケート回答に当たっての参考資料)

本市では、現在の市立幼稚園、小・中学校二学期制を導入するにあたり、平成 16 年 2 月に検討委員会を設置して検討を行うとともに、保護者、児童生徒、教員を対象にアンケートを実施して実態把握を行っています。

学校においては、教育課程・年間行事計画の見直し等を図り、平成 17 年度より市立幼稚園及び小・中学校で二学期制移行いたしました。以来、この平成 29 年度で 13 年目となります。現在の本市児童生徒の学力面、運動面、生徒指導面を総合してみると、比較的良好な状況にあります。

1 二学期制導入の背景

1.1 平成 14 年の学校完全週 5 日制（土日休み）開始

授業日数を減らしながら、定まった授業時数を確保しなければならないという状況下で、授業時数の実数確保と授業の質を保つことが重要になりました。

- ・土曜日休業が始まる前と比べると 40 日ほどの授業日数減となりました。
- ・土曜日に実施していた授業時間を確保するため、平日の日課や児童生徒の学校生活、授業にゆとりがなくなってきました。

1.2 学習評価の方法の変化

学習評価の方法が相対評価から絶対評価に変わり、子供のよさや可能性、成長を長い期間の中できめ細かく見取り、積極的に評価することが重要になってきました。

- ・相対評価とは、集団の中の相対的な位置により個人の能力や学力を評価する評価法。
- ・絶対評価とは、目標に準拠して個々の学習の到達度を評価する評価法。

2 本市二学期制導入当時に期待された効果（導入のねらい）

2.1 じっくりと学習に取り組み、基礎学力の確実な定着を図る

始業式等の行事の回数削減により、年間の授業時間数をこれまでより多く確保できます。また、長期休業直前まで落ち着いて授業ができるため、学習内容を定着させる継続的な指導が可能となります。

2.2 一人一人に応じたきめ細やかな授業を展開する

時間的なゆとりの中で、これまで以上に子供一人一人に応じた指導を行うことで、学習の基礎基本の確実な定着を図ることができます。

2.3 長い期間で評価し、指導にいかす

現在、評価の方法として絶対評価が行われています。この評価方法を行うためには、比較的長期にわたる細かな観察と指導で評価する必要があります。二学期制の導入により、長期的に子供の向上や変容を評価し指導していくことができます。

2.4 夏休み中の生活や学習が充実する

長期休業前に教師と子供が触れ合う時間が増え、きめ細かな学習支援や生活指導、個別の相談を行うことができ、効果的に休みを過ごすことができます。

2.5 学校行事を見直し、工夫することができる

子供の実態を踏まえながら、独自の学校行事や、地域の特性をいかした教育計画を作成して、子供の意欲を育むことができます。

【広報とみぐすく（平成 17 年 3 月号）掲載】

3 二学期制と三学期制の比較

項目	二学期制	三学期制
1 授業日数	二学期制導入年度の平成 17 年度を例として示します。学期制による授業日数の違いはありません。 一学期 (96 日) 二学期 (103 日)	一学期 (69 日) 二学期 (76 日) 三学期 (54 日)
2 評価方法	現在行われている絶対評価では、学期制の違いにかかわらず、定期テスト以外にも普段の学習状況等も加味しながら、時間をかけて成長を促しそれを評価する必要があります。	
3 中学校の定期テスト	定期テストの回数は年間 4 回 (1 回のテスト範囲は広くなります)	定期テストの回数は年間 5 回 (1 回のテスト範囲は狭くなります)
4 通知票	10 月、3 月の年 2 回	7 月、12 月、3 月の年 3 回
5 学校行事	1 年を二分割した長い学期の中で行事日程を組みます。	1 年を三分割した短い学期の中で行事日程を組みます。
6 夏季休暇	・秋休みへ振り分けるため、2 日間短縮されます。 ・夏休み中の過ごし方についての家庭での指導や、家庭学習を進めるための参考になるよう、通知票に代わる評価資料を作成して説明しています。	・二学期制に比べ、2 日間長い夏休みになります。 ・通知票を基に家庭学習を進めたり、夏休み中の過ごし方について家庭内での指導にいかしたりすることができます。

4 二学期制に移行した他市町村の現状

本県では、過去に 14 の市町村が二学期制に移行した実績があります。平成 29 年 8 月の調査で確認のできた関係市町村の経過及び現状は以下の通りです。

4.1 今後の学期制について検討中

豊見城市、沖縄市、那覇市、嘉手納町、西原町

※沖縄市は、平成 26 年度に審議会で検討したが決定は見ず、今後改めて審議会を立ち上げる予定。

4.2 審議等の予定はなく二学期制継続中

北谷町、粟国村

4.3 審議の上で二学期制継続

与那原町

※「8 割以上の教員が二学期制の継続が望ましいと答えている」ということ(長いスパンでの学習、きめ細かな評価、7・12 月の行事実施、安定して学力の維持、ゆとりある教育活動)、保護者アンケート(二学期制継続 3 割：三学期制に変更 4 割：どちらとも言えない 3 割)。以上を総合的に判断し、「保護者や地域への説明を十分に行いながら、二学期制を継続することが望ましい」と結論を出した。

4.4 審議の上で三学期制へ移行

	市町村名	三学期制に なった 年度	三学期制移行の理由
1	宜野湾市	26	①定期テストの回数増でテスト範囲が狭くなり、テスト勉強の際に生徒の負担が軽く、学習意欲の向上につながる。 ②授業時数の確保ができる。 ③通知表が3回になり、子供の状況を確認する機会が増える。 ④夏休み前に子供や保護者に成果と課題を示すことができる。
2	浦添市	28	授業時間の確保を図りながら、子供の学習をこれまで以上に充実させたり、適切できめ細かな評価を行うなど教育効果を高めることが目的。
3	南城市	25	①保護者アンケートの結果を踏まえて ②市内を揃える必要があるため
4	石垣市		未回答
5	今帰仁村	28	国頭地区で本村のみが二学期制であること、評価回数の機会が減少、秋休みがなく学期のメリハリがつかない事等勘案し、三学期制に戻す事になった。
6	八重瀬町	27	二学期制の「ひと学期の期間が長い」、「秋休みで学習の継続性が途切れる」等の課題や社会情勢を踏まえ、保護者に意向調査を実施して決定に至った。
(備考)			
1 浦添市は、平成 18～27 年度まで二学期制。26 年度（二学期制検証）、27 年度（三学期制検討）を経て現在。			
2 南城市は、合併前旧佐敷町が二学期制。平成 25 年度より三学期制となり、南城市内統一。			

※その他、上記以外の島尻地区内市町村（糸満市、南風原町、渡嘉敷村、座間味村、渡名喜村）については、これまで二学期制への移行実績はなく、三学期制を継続しています。

豊見城市立学校の学期制の検討に係る 保護者アンケート

1 あなた（回答者）のこについて

問 1 あなたの年齢（平成 29 年 11 月 1 日現在）について、あてはまる番号を○で囲んでください。

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| ① 20 歳未満 | ② 20～29 歳 | ③ 30～39 歳 | ④ 40～49 歳 |
| ⑤ 50～59 歳 | ⑥ 60～69 歳 | ⑦ 70 歳以上 | |

問 2 あなたの世帯の幼稚園、小学校及び中学校に通学する児童生徒について、あてはまる番号を○で囲んでください。

区分	人数	該当するものに○を付けてください。複数名の場合はそれぞれ該当するものに○を付けてください。
幼稚園生	名	3 歳 4 歳 5 歳
小学生	名	1 年 2 年 3 年 4 年 5 年 6 年
中学生	名	1 年 2 年 3 年

問 3 あなたのお子様に通学（園）する学校について○で囲んでください。（世帯内の幼児児童生徒、それぞれ該当するものを○で囲んでください。）

① 上田幼稚園	② 長嶺幼稚園	③ 座安幼稚園	④ 豊見城幼稚園
⑤ 伊良波幼稚園	⑥ とよみ幼稚園	⑦ 豊崎幼稚園	⑧ ゆたか幼稚園
⑨ 上田小学校	⑩ 長嶺小学校	⑪ 座安小学校	⑫ 豊見城小学校
⑬ 伊良波小学校	⑭ とよみ小学校	⑮ 豊崎小学校	⑯ ゆたか小学校
⑰ 豊見城中学校	⑱ 長嶺中学校	⑲ 伊良波中学校	

2 これまでの二学期制について

【 】内は二学期制導入で期待された効果となっています。

問 4 【ゆとりの確保】 あなたのお子様は、学校生活で学習にじっくりと取り組んでいますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

問 5 【きめ細やかな指導】 あなたのお子様の学校の先生は、学校生活で学習指導にきめ細やかに取り組んでいますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

問 6 【通知表・面談などの評価の丁寧な説明】 あなたのお子様の学校の先生は評価について、通知表や面談などで丁寧な説明を行っていると思いますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

問 7 【夏休み前の適切な指導】 あなたのお子様の夏休みの過ごし方について、学校から学習面、生活面について適切な指導や相談がなされていますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

問 8 【二学期制や地域特性を生かした学校行事】 あなたのお子様の学校では、地域の特性を生かした学校行事の工夫などがされていますか？

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

3 これからの学期制について

問 9 【教職員の働き方】 教員の健康とゆとりは児童生徒がよい環境で学ぶための条件のひとつですが、二学期制はそのことについて効果があると思いますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

問 10 【本市の二学期制について】 ここまでの設問を踏まえ、二学期制の継続と三学期制への移行についてどちらに賛成ですか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 二学期制の継続に賛成 ② 二学期制の継続にやや賛成
③ 三学期制への移行にやや賛成 ④ 三学期制への移行に賛成
⑤ どちらともいえない

問 11 【本市の二学期制について】 **問 10** の回答の理由について、最も当てはまる理由は次のうちどれですか？（問 10 で①又は②を選んだ方は次の表の左欄から、③又は④を選んだ方は次の表の右欄から 2 つ以内選び、○で囲んでください。⑤を選んだ方は回答不要です。）

問 10 で①・②を選んだ方	問 10 で③・④を選んだ方
① 本市の児童生徒の学力の現状から	⑪ 本市の児童生徒の学力の現状から
② 教員が児童生徒一人一人と向き合う時間の確保の視点から	⑫ 通知票をもらう回数が増えることにより、児童生徒の振り返りや再スタートの機会を多く持つことができると思うから
③ あえて学期制を変更する必要性を感じないから	⑬ 三学期制の市町村が多いから
④ 二学期制が定着していると思うから	⑭ 受験や進学に向け、二学期制より有利だと思うから
⑤ 社会慣習や生活スタイルと合っていて、暮らしとの関連という視点から	⑮ 社会慣習や生活スタイルと合っていて、暮らしとの関連という視点から
⑥ 二学期制へ移行した効果が表れていると思うから	⑯ 二学期制へ移行した効果が表れていないと思うから

※ 選択肢は前年に実施した、「豊見城市二学期制」についてのアンケート調査の記述意見を参考にして、主な理由として予想されるものを示しました。

4 学期制の検討に関連して長期休暇に対する意識について

問 13 【夏休みの期間について】 今後、学校教育にかかわる大きな変革（例えば道徳教育や英語教育、キッズウィークの設置等）が予定されております。報道等によると本土のある町の小中学校では夏休みが大幅に短縮されるなどの情報も聞かれます。本市において、学期制の在り方に関する検討に連動して、夏休み期間の見直し検討が行われるとした場合、どのようにお考えになりますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 賛成 ② やや賛成 ③ やや反対 ④ 反対
⑤ どちらともいえない

※「キッズウィーク」とは

地域ごとに夏休みや冬休みなどの学校の長期休業日から、一部の休業日を他の日に移して休業日を分散化すること等により、学校が休みとなった日に大人も有給休暇を取得し、大人と子供が共に休日を過ごす機会を創出する。

この取組は、平成30年度から、都道府県・市区町村など一定の地域単位で、全国一律・一斉といった形ではなく、地域の実情に応じ、教育現場や企業の取組などを踏まえ、学校休業日の設定をはじめ、多様なやり方で自主的に進められることを想定しており、国は、キッズウィークの実施に向けた地域の取組を支援していく。

（平成29年7月18日内閣官房政策会議）

ご協力ありがとうございました。

アンケート 5 / 5

豊見城市立学校の学期制の検討に係る 教職員アンケートご協力のお願い

本市では平成 17（2005）年度より市内全幼稚園、小学校及び中学校が三学期制から二学期制へ移行しております。今年度は、外部有識者などで構成される豊見城市立学校学期制審議会において二学期制の検証と今後の学期制の在り方について審議を進めているところであります。

このアンケートは、教職員の皆様を対象に、二学期制導入当時に期待された効果等が得られたのかなど、本市のこれまでの二学期制の取組み状況や今後の学期制についてのご意向を把握し、今後の学期制についての検討の基礎資料とすることを目的として実施するものであります。

つきましては、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力をくださいますようお願いいたします。

ご記入上のご留意点等

- 1 質問項目は、設問ごとに該当する箇所に○を記入ください。
- 2 回答の前に次頁の「本市の二学期制の経緯とこれまでの取組みについて」をお読みください。
- 3 本調査にご不明な点がありましたら下記までご連絡ください。

豊見城市教育委員会 学校教育部 学校教育課 ☎098-850-0035

本市の二学期制導入の経緯とこれまでの取組みについて (アンケート回答に当たっての参考資料)

本市では、現在の市立幼稚園、小・中学校二学期制を導入するにあたり、平成 16 年 2 月に検討委員会を設置して検討を行うとともに、保護者、児童生徒、教員を対象にアンケートを実施して実態把握を行っています。

学校においては、教育課程・年間行事計画の見直し等を図り、平成 17 年度より市立幼稚園及び小・中学校で二学期制移行いたしました。以来、この平成 29 年度で 13 年目となります。現在の本市児童生徒の学力面、運動面、生徒指導面を総合してみると、比較的良好的な状況にあります。

1 二学期制導入の背景

1.1 平成 14 年の学校完全週 5 日制（土日休み）開始

授業日数を減らしながら、定まった授業時数を確保しなければならないという状況下で、授業時数の実数確保と授業の質を保つことが重要になりました。

- ・土曜日休業が始まる前と比べると 40 日ほどの授業日数減となりました。
- ・土曜日に実施していた授業時間を確保するため、平日の日課や児童生徒の学校生活、授業にゆとりがなくなってきました。

1.2 学習評価の方法の変化

学習評価の方法が相対評価から絶対評価に変わり、子供のよさや可能性、成長を長い期間の中できめ細かく見取り、積極的に評価することが重要になってきました。

- ・相対評価とは、集団の中の相対的な位置により個人の能力や学力を評価する評価法。
- ・絶対評価とは、目標に準拠して個々の学習の到達度を評価する評価法。

2 本市二学期制導入当時に期待された効果（導入のねらい）

2.1 じっくりと学習に取り組み、基礎学力の確実な定着を図る

始業式等の行事の回数削減により、年間の授業時間数をこれまでより多く確保できます。また、長期休業直前まで落ち着いて授業ができるため、学習内容を定着させる継続的な指導が可能となります。

2.2 一人一人に応じたきめ細やかな授業を展開する

時間的なゆとりの中で、これまで以上に子供一人一人に応じた指導を行うことで、学習の基礎基本の確実な定着を図ることができます。

2.3 長い期間で評価し、指導にいかす

現在、評価の方法として絶対評価が行われています。この評価方法を行うためには、比較的長期にわたる細かな観察と指導で評価する必要があります。二学期制の導入により、長期的に子供の向上や変容を評価し指導していくことができます。

2.4 夏休み中の生活や学習が充実する

長期休業前に教師と子供が触れ合う時間が増え、きめ細かな学習支援や生活指導、個別の相談を行うことができ、効果的に休みを過ごすことができます。

2.5 学校行事を見直し、工夫することができる

子供の実態を踏まえながら、独自の学校行事や、地域の特性をいかした教育計画を作成して、子供の意欲を育むことができます。

【広報とみぐすく（平成 17 年 3 月号）掲載】

3 二学期制と三学期制の比較

項目	二学期制	三学期制
1 授業日数	二学期制導入年度の平成 17 年度を例として示します。学期制による授業日数の違いはありません。 一学期 (96 日) 二学期 (103 日)	一学期 (69 日) 二学期 (76 日) 三学期 (54 日)
2 評価方法	現在行われている絶対評価では、学期制の違いにかかわらず、定期テスト以外にも普段の学習状況等も加味しながら、時間をかけて成長を促しそれを評価する必要があります。	
3 中学校の定期テスト	定期テストの回数は年間 4 回 (1 回のテスト範囲は広くなります)	定期テストの回数は年間 5 回 (1 回のテスト範囲は狭くなります)
4 通知票	10 月、3 月の年 2 回	7 月、12 月、3 月の年 3 回
5 学校行事	1 年を二分割した長い学期の中で行事日程を組みます。	1 年を三分割した短い学期の中で行事日程を組みます。
6 夏季休暇	・秋休みへ振り分けるため、2 日間短縮されます。 ・夏休み中の過ごし方についての家庭での指導や、家庭学習を進めるための参考になるよう、通知票に代わる評価資料を作成して説明しています。	・二学期制に比べ、2 日間長い夏休みになります。 ・通知票を基に家庭学習を進めたり、夏休み中の過ごし方について家庭内での指導にいかしたりすることができます。

4 二学期制に移行した他市町村の現状

本県では、過去に 14 の市町村が二学期制に移行した実績があります。平成 29 年 8 月の調査で確認のできた関係市町村の経過及び現状は以下の通りです。

4.1 今後の学期制について検討中

豊見城市、沖縄市、那覇市、嘉手納町、西原町

※沖縄市は、平成 26 年度に審議会で検討したが決定は見ず、今後改めて審議会を立ち上げる予定。

4.2 審議等の予定はなく二学期制継続中

北谷町、粟国村

4.3 審議の上で二学期制継続

与那原町

※「8 割以上の教員が二学期制の継続が望ましいと答えている」ということ(長いスパンでの学習、きめ細かな評価、7・12 月の行事実施、安定して学力の維持、ゆとりある教育活動)、保護者アンケート(二学期制継続 3 割：三学期制に変更 4 割：どちらとも言えない 3 割)。以上を総合的に判断し、「保護者や地域への説明を十分に行いながら、二学期制を継続することが望ましい」と結論を出した。

4.4 審議の上で三学期制へ移行

	市町村名	三学期制に なった年度	三学期制移行の理由
1	宜野湾市	26	①定期テストの回数増でテスト範囲が狭くなり、テスト勉強の際に生徒の負担が軽く、学習意欲の向上につながる。 ②授業時数の確保ができる。 ③通知表が3回になり、子供の状況を確認する機会が増える。 ④夏休み前に子供や保護者に成果と課題を示すことができる。
2	浦添市	28	授業時間の確保を図りながら、子供の学習をこれまで以上に充実させたり、適切できめ細かな評価を行うなど教育効果を高めることが目的。
3	南城市	25	①保護者アンケートの結果を踏まえて ②市内を揃える必要があるため
4	石垣市		未回答
5	今帰仁村	28	国頭地区で本村のみが二学期制であること、評価回数の機会が減少、秋休みがなく学期のメリハリがつかない事等勘案し、三学期制に戻す事になった。
6	八重瀬町	27	二学期制の「ひと学期の期間が長い」、「秋休みで学習の継続性が途切れる」等の課題や社会情勢を踏まえ、保護者に意向調査を実施して決定に至った。
(備考)			
1 浦添市は、平成 18～27 年度まで二学期制。26 年度（二学期制検証）、27 年度（三学期制検討）を経て現在。			
2 南城市は、合併前旧佐敷町が二学期制。平成 25 年度より三学期制となり、南城市内統一。			

※その他、上記以外の島尻地区内市町村（糸満市、南風原町、渡嘉敷村、座間味村、渡名喜村）については、これまで二学期制への移行実績はなく、三学期制を継続しています。

豊見城市立学校の学期制の検討に係る 教職員アンケート

1 あなた（回答者）のことについて

問 1 あなたの所属について、あてはまる番号の1つを○で囲んでください。

- ① 幼稚園 ② 小学校 ③ 中学校

問 2 あなたの年代について、あてはまる番号の1つを○で囲んでください。

- ① 20代 ② 30代 ③ 40代 ④ 50代以上

問 3 あなたの三学期制の学校への勤務経験についてあてはまる番号の1つを○で囲んでください。（“あり”の場合は校数及び勤務年数もお書きください。）

- ① あり（ 校 年） ② なし

2 これまでの二学期制について

【 】内は二学期制導入で期待された効果となっています。

問 4 【授業時数の確保】 二学期制の夏休み・冬休み直前まで授業を行うことができるということは、授業時数確保という観点で効果があったと思いますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

問 5 【基礎基本の定着】 授業時間の確保や長いスパンでの指導を行うことができるという二学期制の特性を生かした授業は、基礎基本の定着に効果があったと思いますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

問 6 【評価】 現在行われている絶対評価は、児童生徒の成長や変容を比較的長期に見取る必要があります。二学期制はこの評価方法に効果があったと思いますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

問 7 【夏休み前の適切な指導】 夏休みに入る前は、教師と児童生徒の触れ合う時間を確保し、学習指導や生活指導、必要に応じ個別相談を行い、安全で充実した夏休みに向けた準備の必要がありますが、二学期制はこの点で効果があったと思いますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

問 8 【二学期制や地域特性を生かした学校行事】 子供の実態や地域の特性を踏まえ、二学期制の特性を生かした無理のない効果的な学校行事を計画実施することは重要な事ですが、二学期制はこの点で効果があったと思いますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

3 これからの学期制について

問 9 【教職員の働き方】 教職員の多忙化の改善について、二学期制は効果があった（もしくは貢献する可能性がある）と思いますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 思う ② やや思う ③ やや思わない ④ 思わない
⑤ どちらともいえない

問 10 【本市の二学期制について】 ここまでの設問を踏まえ、二学期制の継続と三学期制への移行についてどちらに賛成ですか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- ① 二学期制の継続に賛成 ② 二学期制の継続にやや賛成
③ 三学期制の移行にやや賛成 ④ 三学期制の移行に賛成
⑤ どちらともいえない

問 11 【本市の二学期制について】 問 10 の回答の理由について、最も当てはまる理由は次のうちどれですか？（問 10 で①又は②を選んだ方は次の表の左欄から、③又は④を選んだ方は次の表の右欄から 2 つ以内選び、○で囲んでください。⑤を選んだ方は回答不要です。）

問 10 で①・②を選んだ方	問 10 で③・④を選んだ方
① 本市の児童生徒の学力の現状から	⑪ 本市の児童生徒の学力の現状から
② 教員が児童生徒一人一人と向き合う時間の確保の視点から	⑫ 通知票をもらう回数が 1 回多いことにより、児童生徒の振り返りや再スタートの機会を多く持つことができると思うから
③ あえて学期制を変更する必要性を感じないから	⑬ 三学期制の市町村が多いから
④ 二学期制が定着していると思うから	⑭ 受験や進学に向け、二学期制より有利だと思うから
⑤ 社会慣習や生活スタイルと合っていて、暮らしとの関連という視点から	⑮ 社会慣習や生活スタイルと合っていて、暮らしとの関連という視点から
⑥ 二学期制へ移行した効果が表れていると思うから	⑯ 二学期制へ移行した効果が表れていないと思うから

※ 選択肢は前年に実施した、「豊見城市二学期制」についてのアンケート調査の記述意見を参考にして、主な理由として予想されるものを示しました。

選択した理由以外の意見がありましたらお書きください。

問 12 【その他】 其他のご意見等がありましたらお書きください。

4 学期制の検討に関連して長期休暇に対する意識について

問 13 【夏休みの期間について】 今後、学校教育にかかわる大きな変革（例えば道徳教育や英語教育、キッズウィークの設置等）が予定されております。報道等によると本土のある町の小中学校では夏休みが大幅に短縮されるなどの情報も聞かれます。本市において、学期制の在り方に関する検討に連動して、夏休み期間の見直し検討が行われるとした場合、どのようにお考えになりますか？（あてはまる番号の1つを○で囲んでください。）

- | | | | |
|-------------|--------|--------|------|
| ① 賛成 | ② やや賛成 | ③ やや反対 | ④ 反対 |
| ⑤ どちらともいえない | | | |

※「キッズウィーク」とは

地域ごとに夏休みや冬休みなどの学校の長期休業日から、一部の休業日を他の日に移して休業日を分散化すること等により、学校が休みとなった日に大人も有給休暇を取得し、大人と子供が共に休日を過ごす機会を創出する。

この取組は、平成30年度から、都道府県・市区町村など一定の地域単位で、全国一律・一斉といった形ではなく、地域の実情に応じ、教育現場や企業の取組などを踏まえ、学校休業日の設定をはじめ、多様なやり方で自主的に進められることを想定しており、国は、キッズウィークの実施に向けた地域の取組を支援していく。

（平成29年7月18日内閣官房政策会議）

ご協力ありがとうございました。

アンケート 4/4

カ 保護者アンケート集計（詳細）

(全保護者 1/2)

豊見城市立学校の学期制の検討に係る保護者アンケート集計

アンケート実施期間 平成29年11月24日(金) ~ 11月30日(木)

アンケート対象 豊見城市立幼小中学校保護者

1 あなた(回答者)のことについて

回答者数		2877				
問1	回答者年代	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳
		3	83	1046	1544	191
		0.1%	2.9%	36.4%	53.7%	6.6%
		60~69歳	70歳以上			
		9	1			
		0.3%	0.0%			

※問2(家庭の子供の人数、学校種)、問3(通園・通学する学校名)の2つの設問に対する回答の集計は省略。

2 これまでの二学期制について

問4	あなたのお子様は、学習にじっくりと取り組んでいると思いますか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		736	1145	374	214	375
		25.9%	40.3%	13.2%	7.5%	13.2%
問5	あなたのお子様の先生は、学習指導にきめ細かに取り組んでいると思いますか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		923	1233	260	119	306
		32.5%	43.4%	9.2%	4.2%	10.8%
問6	あなたのお子様の先生は、評価について通知票や面談などで丁寧な説明を行っていると思いますか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		1247	1134	188	79	196
		43.8%	39.9%	6.6%	2.8%	6.9%
問7	あなたのお子様の夏休みの過ごし方について、学校から学習面、生活面について適切な指導や相談がなされていますか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		1177	1217	201	59	193
		41.3%	42.7%	7.1%	2.1%	6.8%
問8	あなたのお子様の学校では、地域の特性を生かした学校行事の工夫などがされていますか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		585	158	97	67	98
		58.2%	15.7%	9.7%	6.7%	9.8%

3 これからの学期制について

問9	二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない	
		415 14.6%	672 23.6%	403 14.2%	479 16.8%	875 30.8%	
問10	二学期制と三学期制のどちらに賛成か。	二学期制	やや二学期制	やや三学期制	三学期制	どちらともいえない	
		447 15.6%	333 11.6%	568 19.8%	1046 36.5%	468 16.4%	
問11	二学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	子供と向き合う時間の確保の視点	変更の必要性を感じない	2学期制が定着している	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れている
	78 6.9%	273 24.1%	410 36.2%	267 23.6%	79 7.0%	26 2.3%	
問11	三学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	通知票をもらう回数が多いから	三学期制の市町村が多いから	受験や進学に有利と思う	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れていない
	106 4.0%	1052 39.8%	58 2.2%	348 13.2%	544 20.6%	533 20.2%	
問11	問11に関してその他の記述意見。	別に記載					
問12	全体を通してその他の記述意見。	別に記載					

4 学期制の検討に関連して長期休暇に対する意識について

問13	学期制の検討に運動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。	賛成	やや賛成	やや反対	反対	どちらともいえない
		572 20.6%	786 28.4%	313 11.3%	327 11.8%	773 27.9%

保護者アンケート記述意見まとめ①

(二学期制を支持する回答者の記述意見)

	主な記述	件数
長期休みについて	○秋休みが子供と家庭にとって良い（旅行など）。 ○休みが分散されるのは良いことだと思う。 ○秋休みが中途半端なので長くしてほしい。 ○地域により、夏休みや秋休みの日数が違うので、親戚との交流（子供預けや旅行）が大変。	15
	○長期休みを減らしてほしくない。 ○二学期制は、他市町の学校や仕事の休みと日程が重ならないので支障が少ない。	2
	○秋休みは不要。 ○保護者は秋休みをとれない。	2
教師のはたらき方	○教員のゆとりも必要。評価や指導の時間にあててほしい。	13
	○子供たちと関わる時間を確保してほしい。 ○先生方の事務的負担が減り、その分子どもと接する機会が持てるというのであれば二学期制が良い。 ○授業時間が変わらないのであればそのままよい。 ○学力向上や生徒指導上の問題減少という効果がある前提で教員の負担が軽くなるならそのままよい。	10
	○教員の健康とゆとりは、学期制と関係ない。	2
子供たち	○子供たちにとっては二学期制が定着している。 ○子供たちはゆとりをもって学習できている。 ○学期制をコロコロ変えると子供が混乱する。 ○学力テスト結果が向上、運動面でも活躍している。	11
通知票	○二学期制は通知表をもらうのが少ないので、子供の成績が今一わかりにくい感じがする。 ○夏休み前に通知票を出してほしい。 ○二学期制でゆとりをもって評価してほしい。夏休み前は個人面談で様子を聞いているので、そのことを夏休みに保護者が活かすべき。	8
テスト	○中学生の場合は定期テストの間隔・範囲等の不安がある。 ○小学校は今のままでもよい。中学校は受験に向け、学校の定期テストや評価の回数が増えるので三学期制の方がよい。	4
受験	○二学期制は受験生にとって不利と思うが、夏休み前の仮評価や面談があればよし。	1
その他	○先生方（現場）の意見を第一に考えてよい。	10
	○土曜日授業で平日の6時間目を減らす。 ○子供と先生のゆとりのため、夏休みと普段の5・6校時を減らせばよい。	4
	○二学期制の良さを生かしていない。 ○長期休暇や行事の時期などの見直しが必要。	1
	○三学期制は短い期間で行事を行うという記述に不安を感じた。	1
	○三学期制に戻った浦添を見てあわただしさを感じており、アンケート結果の多数決で3学期制に戻ることが不安。	1
	○大切なのは子ども達にあった教育環境を整えること（クーラー等）	1
	○学習量も増えたので、授業日数の確保のためとじっくりと授業に取り組むため。	1
	○業務改善せずして何が…学期制か。 ○各学期制におけるメリット、デメリットが実感しにくい。	1

計 89

保護者アンケート記述意見集約②

(三学期制を支持する回答者の記述意見)

	主な記述	件数
長期休みに ついて	<ul style="list-style-type: none"> ○秋休み不要、生活リズムが乱れる。 ○季節のメリハリ。秋休みの過ごし方が分かりにくい。 ○子供の預け先確保が困難。 ○親子兄弟姉妹で休みが違う。 ○短い秋休みで1学期の成績の見直しはできない。 ○過ごしやすい季節に休みをとることはもったいない。 ○保護者は休みの調整が大変。 ○秋休みで学習の継続が途切れている。 ○秋休みは子供だけで過ごす事が多く、安全面で問題。 ○子供の休みが多いと困る。 ○学期がわかりにくい。 ○長期休みに合わせて学期が変わる方が親にも子供にも分かりやすい。 ○休みが多すぎる。休みを減らしてほしい。 ○夏休みを短縮して、土曜日授業復活、普段の下校を早めることで、生活リズム改善につながる。 ○働いている親が多い。 ○本土に比べ授業日数が少ない。 ○平日の授業が長い。 ○授業日数が足りないから先生にゆとりがない。 ○土日が休みのため大会が増え、保護者の部活指導者は土曜日の時間を作ることに苦慮している。 ○夏休み授業の際は給食を出して午後まで授業、親は仕事があるので子供が早く帰ると困る。 ○ひと学期の間に長期休みがあることや、夏休み後すぐに秋休みなど、学期途中でメリハリがなくなること、気が抜けるなどデメリットしか感じない。 	154
	○学期中の長期休暇は非効率、学期の終わりの長期休暇が学習・復習などと効率的。	1
	<ul style="list-style-type: none"> ○二学期制を継続するなら、秋休みを長く(1か月、他)とる。 ○那覇市と同じように秋休みをもう少し長めにしても良い。 	5
通知票・夏 休みの過 ごし方	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み前に通知票が欲しい。苦手科目を知りたい。 ○通知票をもらう機会を1回でも多くしてほしい。 ○苦手な教科を知りたい。 ○挽回する機会を増やす。 ○10月通知票では夏休み前のことは忘れている。 ○夏休みにどこに力を入れて勉強していいのかわからない。 ○学習や学校生活の振り返りや反省を夏休み1学期修了時のどこで行うか戸惑う。 ○通知票があることで子供は自分を知り、親はサポートができる。 ○学期末以外にも通知票を出してほしい。 ○夏休み前の面談はプリントをもらい15分程度説明されていますが、大まかで心配です。小学生はいいが中学になると受験に向け二学期制は心配です。 ○評価回数が少ないので受験生または中学生ははじめの付け所が遅くなる。 ○三学期制の方が、学習面での保護者のフォローがしやすい。 	79
テスト	<ul style="list-style-type: none"> ○中学校の定期テストの範囲を狭くして、テストの回数を増やす事で点数アップ・やる気アップ。 ○5教科と技能科目のテスト期間の設定の仕方がよくない。 	46

子供たちのゆとり	<ul style="list-style-type: none"> ○行事やテストなど、子供たちのゆとりがなく、詰め込みで今やることや下校も遅いので宿題をやることでいっぱい。 ○授業のペースが速く、宿題も多いので、遊ぶ時間がない。部活動のやりすぎについても改善が必要。 ○1年生から授業が多く疲れている。 ○秋休みのため、学校行事のスケジュールがタイトになっている。夏休み後2週間ほどで運動会、練習時間が短く子供に負担。バランスよい学習のため3学期制に賛成。 ○授業のペースに追いついていけない子への対応などが気になる。 ○二学期制や週5日になり毎日6時間と小1からは辛そうに感じます。ランドセル持ったことありますか？重たいですよ。三学期制にして土曜日の登校もお願いします。ゆとりをもたせてください。 	18
教師のはたらき方	<ul style="list-style-type: none"> ○二学期制で教員の負担が軽減されたとは考えにくい。 ○二学期制は却ってゆとりがないと思う。 ○小学校は運動会の練習時間が1学期前半の終わりから後半にまたがり、6年生はエイサーで夏休みも練習が必要になるなど、児童、先生にも負担がかかっている。 ○教員の働き方の問題を改善しないと、いつまでたっても学校の問題は解決しない。 ○副担任を設けるなどその他の工夫を。 ○1・2学期の通知表は簡略化して、三学期のものを充実させるなどして、先生の負担を軽減してはどうでしょうか？ 	26
	<ul style="list-style-type: none"> ○教員のゆとりには、学力テストを重要視しすぎるの方針を見直すべき。国語、算数以外の授業も大切にしてほしい。 ○先生方のゆとり確保には行事の見直し等こそ必要なのではないか。 ○子供と教員のゆとりのために3学期制がよい。 	8
	<ul style="list-style-type: none"> ○三学期制が負担なら、評価を2回のまま3学期制など工夫を。 ○評価に時間を要するならば、毎学期同じ評価項目にしないでよいのではないか。 	2
	<ul style="list-style-type: none"> ○教育にゆとりは不要、学習指導に力を入れてほしい。 	2
	<ul style="list-style-type: none"> ○高校は三学期制なので進学に備え三学期制がよい。また、小中と高校が違うと親が大変。 ○三学期制に比べ受験に不利。 	13
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○二学期制の効果が感じられない（効果があったのか、なかったのかわからない）。 ○三学期制の時となら変わらない。 ○二学期制導入のねらい「一人一人に応じたきめ細かな授業展開」が感じられない。 	23
	<ul style="list-style-type: none"> ○三学期制へ移行している市町村が多いのはやはり生徒にとっては良いのかな？と思う。 ○全国的にも三学期制がスタンダード。 ○他県の学期制と差がないようにしてほしい。 ○転校する場合、テスト範囲や授業の進み具合に差があり、生徒の負担が増えると思います。 	12
	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校は二学期制でもよい、中学校は3学期制がよい。 	10
	<ul style="list-style-type: none"> ○二学期制は、子供のためと言いながら先生が楽をするため。 	8
	<ul style="list-style-type: none"> ○先生方のやりやすい学期制でよい。 	7
	<ul style="list-style-type: none"> ○雨や暑さ寒さなどの天候を考えると三学期制にして、10月に運動会を実施してほしい。 	4
	<ul style="list-style-type: none"> ○塾などに通える子は伸び、通えない子はどんどん取り残されたりと格差が大きくなるので、学校で十分に学べるよう考えてほしい。 ○1学期が長いと、勉強の範囲が広く、特につまづく算数に関して、じっくりと教えてほしい。 	2
	<ul style="list-style-type: none"> ○二学期制では長いスパンで計画を立てると思うが、子供は短いスパンで目標設定した方が取り組みやすく力を発揮しやすいのではないか。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者と教員が連携しやすいのは三学期制だと思う。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ○2学期制は感覚的に合わない。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ○転入に伴い、授業の進み具合に戸惑った。 	1
	<ul style="list-style-type: none"> ○子供たちが地域行事に触れあえる様にしていだけたら良いと思います。 	1

計 425

保護者アンケート記述意見集約③

(どちらともいえない回答者の記述意見)

	主な記述	件数	
長期休みについて	○夏休みを短縮で授業を5校時までとすると、部活や習い事・塾も早く行けて就寝ももう少し早まると思う。 ○ただやるだけになってしまう夏休みの宿題よりは夏休みに授業をする方がよい。 ○夏休みに学校がもっと子供とかかわりが増えるといい。	4	
	○秋休みがもう少し長い、または、祝日を利用せずに1週間休みなどであればリフレッシュできてメリハリがつくと思う。時期、期間が中途半端。	3	
	○夏休み後秋休みは気が抜けるので、2学期制継続でも通常の連休で良い。	1	
	○夏休み短縮。授業時数が足りなければ、休みを減らせばよい。	1	
	○二学期制を継続するなら、夏休みを短縮し、那覇市のように秋休みをもう少し長く設定してほしいです。	1	
	○休み期間は短くした方がよい。毎日14:00頃終了で、17:00頃まで、学校が学童の役割もあるととても安心。	1	
	教師のはたらき方	○生徒のゆとり先生のゆとりを確保。教師がゆとりをもって教えやすいのであれば、2学期制のままが良いが、定期テストの範囲の広さが子供の負担なら、学期にこだわらずテストを実施すればよい。 ○教員の健康上の問題は他の要因もあるはず。残業等多いのに、たびたび行事で休日出勤させるのは負担を増やしているだけ。 ○先生方のゆとりが無くなると、本末転倒になってしまいますので、教育現場の働き方を考えてそれを提示頂きたいです。 ○二学期制で先生方の業務にゆとりが生まれているのであれば、二学期制を続けてもよい。	8
○教員のゆとりのために二学期制は行われていますが、子供のためにより良い環境にしてほしい。		1	
○ゆとりのある指導や授業時数確保は土曜日授業で。		1	
○二学期制になり益々忙しくなった感じがする。		1	
その他		○二学期制、三学期制のメリット、デメリットがわかりにくい。 ○学期制導入で何が変わったのかわからない。	7
		○先生方の意見を優先してもかまわないと思う。	7
	○あまり変えることもどうかと思う。逆効果もあるかも。 ○コロナ変えないでほしい。2学期制がよいとは思わないが、そのままでもよい。	4	
	○中学校のテスト回数を増やしテスト範囲を短くしてほしい。	3	
	○2学期制から3学期制に移行する場合、子供たちや教育現場に混乱が起きなければいいと思う。	2	
	○学力の高い市町村に合わせたらよい。	1	
	○通知票をもらう回数を増やしてほしい。	1	
	○市として教育をどう考えるかという視点での再考を願う。	1	
	○教員がゆとり、指導力、評価など2学期制のメリットが多く、3学期制で余裕がなく、指導力維持が大変と考えているなら、3学期制移行はむづかしいのではないかと。保護者、子供が3学期制を望んでも指導力が低下するのであれば意味がない。	1	
	○子ども、先生達がゆとりをもって学習に取り組むことができ、子供たちの学力が向上して自信に繋がっているのであれば今のままでもよい。	1	

計 50

豊見城市立学校の学期制の検討に係る保護者アンケート集計

アンケート実施期間 平成29年11月24日(金) ~ 11月30日(木)

アンケート対象 豊見城市立幼稚園保護者

1 あなた(回答者)のことについて

回答者数		490				
問 1	回答者年代	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳
		2	36	278	168	6
		0.4%	7.3%	56.7%	34.3%	1.2%
		60~69歳	70歳以上			
		0	0			
		0.0%	0.0%			

※問2(家庭の子供の人数、学校種)、問3(通園・通学する学校名)の2つの設問に対する回答の集計は省略。

2 これまでの二学期制について

問 4	あなたのお子様は、学習にじっくりと取り組んでいると思いますか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		144	199	43	34	65
		29.7%	41.0%	8.9%	7.0%	13.4%
問 5	あなたのお子様の先生は、学習指導にきめ細かに取り組んでいると思いますか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		187	199	32	21	45
		38.6%	41.1%	6.6%	4.3%	9.3%
問 6	あなたのお子様の先生は、評価について通知票や面談などで丁寧な説明を行っていると思いますか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		242	182	19	9	32
		50.0%	37.6%	3.9%	1.9%	6.6%
問 7	あなたのお子様の夏休みの過ごし方について、学校から学習面、生活面について適切な指導や相談がなされていますか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		217	191	28	12	38
		44.7%	39.3%	5.8%	2.5%	7.8%
問 8	あなたのお子様の学校では、地域の特性を生かした学校行事の工夫などがされていますか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		125	166	64	39	91
		25.8%	34.2%	13.2%	8.0%	18.8%

3 これからの学期制について

問9	二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない	
		79	104	66	74	159	
		16.4%	21.6%	13.7%	15.4%	33.0%	
問10	二学期制と三学期制のどちらに賛成か。	二学期制	やや二学期制	やや三学期制	三学期制	どちらともいえない	
		76	52	101	166	90	
		15.7%	10.7%	20.8%	34.2%	18.6%	
問11	二学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	子供と向き合う時間の確保の視点	変更の必要性を感じない	2学期制が定着している	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れている
		9	48	63	43	10	6
		5.0%	26.8%	35.2%	24.0%	5.6%	3.4%
	三学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	通知票をもらう回数が多いから	三学期制の市町村が多いから	受験や進学に有利と思う	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れていない
		13	166	15	43	112	90
		3.0%	37.8%	3.4%	9.8%	25.5%	20.5%
	問11に関してその他の記述意見。	別に記載					
問12	全体を通してその他の記述意見。	別に記載					

4 学期制の検討に関連して長期休暇に対する意識について

問13	学期制の検討に連動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。	賛成	やや賛成	やや反対	反対	どちらともいえない
		103	126	59	34	147
		22.0%	26.9%	12.6%	7.2%	31.3%

豊見城市立学校の学期制の検討に係る保護者アンケート集計

アンケート実施期間 平成29年11月24日(金) ~ 11月30日(木)

アンケート対象 豊見城市立小学校保護者

1 あなた(回答者)のことについて

回答者数		1897				
問 1	回答者年代	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳
		1	47	722	1039	82
		0.1%	2.5%	38.1%	54.8%	4.3%
		60~69歳	70歳以上			
		6	0			
0.3%	0.0%					

※問2(家庭の子供の人数、学校種)、問3(通園・通学する学校名)の2つの設問に対する回答の集計は省略。

2 これまでの二学期制について

問 4	あなたのお子様は、学習にじっくりと取り組んでいると思いますか。	思う	やや思う	やや 思わない	思わない	どちらとも いえない
		518	759	247	114	236
		27.6%	40.5%	13.2%	6.1%	12.6%
問 5	あなたのお子様の先生は、学習指導にきめ細かに取り組んでいると思いますか。	思う	やや思う	やや 思わない	思わない	どちらとも いえない
		644	833	165	49	184
		34.3%	44.4%	8.8%	2.6%	9.8%
問 6	あなたのお子様の先生は、評価について通知票や面談などで丁寧な説明を行っていると思いますか。	思う	やや思う	やや 思わない	思わない	どちらとも いえない
		857	730	121	45	122
		45.7%	38.9%	6.5%	2.4%	6.5%
問 7	あなたのお子様の夏休みの過ごし方について、学校から学習面、生活面について適切な指導や相談がなされていますか。	思う	やや思う	やや 思わない	思わない	どちらとも いえない
		831	792	111	31	112
		44.3%	42.2%	5.9%	1.7%	6.0%
問 8	あなたのお子様の学校では、地域の特性を生かした学校行事の工夫などがされていますか。	思う	やや思う	やや 思わない	思わない	どちらとも いえない
		396	676	268	189	346
		21.1%	36.1%	14.3%	10.1%	18.5%

3 これからの学期制について

問9	二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない	
		286	469	246	293	583	
		15.2%	25.0%	13.1%	15.6%	31.1%	
問10	二学期制と三学期制のどちらに賛成か。	二学期制	やや二学期制	やや三学期制	三学期制	どちらともいえない	
		309	232	355	681	311	
		16.4%	12.3%	18.8%	36.1%	16.5%	
問11	二学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	子供と向き合う時間の確保の視点	変更の必要性を感じない	2学期制が定着している	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れている
		56	198	290	175	57	18
		7.1%	24.9%	36.5%	22.0%	7.2%	2.3%
	三学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	通知票をもらう回数が多いから	三学期制の市町村が多いから	受験や進学に有利と思う	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れていない
		59	680	35	201	346	335
		3.6%	41.1%	2.1%	12.1%	20.9%	20.2%
	問11に関してその他の記述意見。	別に記載					
問12	全体を通してその他の記述意見。	別に記載					

4 学期制の検討に関連して長期休暇に対する意識について

問13	学期制の検討に連動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。	賛成	やや賛成	やや反対	反対	どちらともいえない
		393	525	193	241	482
		21.4%	28.6%	10.5%	13.1%	26.3%

豊見城市立学校の学期制の検討に係る保護者アンケート集計

アンケート実施期間 平成29年11月24日(金) ~ 11月30日(木)

アンケート対象 豊見城市立中学校保護者

1 あなた(回答者)のことについて

回答者数		490				
問 1	回答者年代	20歳未満	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳
		0	0	46	337	103
		0.0%	0.0%	9.4%	68.8%	21.0%
		60~69歳	70歳以上			
		3	1			
		0.6%	0.2%			

※問2(家庭の子供の人数、学校種)、問3(通園・通学する学校名)の2つの設問に対する回答の集計は省略。

2 これまでの二学期制について

問 4	あなたのお子様は、学習にじっくりと取り組んでいると思いますか。	思う	やや思う	やや 思わない	思わない	どちらとも いえない
		74	187	84	66	74
		15.3%	38.6%	17.3%	13.6%	15.3%
問 5	あなたのお子様の先生は、学習指導にきめ細かに取り組んでいると思いますか。	思う	やや思う	やや 思わない	思わない	どちらとも いえない
		92	201	63	49	77
		19.1%	41.7%	13.1%	10.2%	16.0%
問 6	あなたのお子様の先生は、評価について通知票や面談などで丁寧な説明を行っていると思いますか。	思う	やや思う	やや 思わない	思わない	どちらとも いえない
		148	222	48	25	42
		30.5%	45.8%	9.9%	5.2%	8.7%
問 7	あなたのお子様の夏休みの過ごし方について、学校から学習面、生活面について適切な指導や相談がなされて	思う	やや思う	やや 思わない	思わない	どちらとも いえない
		129	234	62	16	43
		26.7%	48.3%	12.8%	3.3%	8.9%
問 8	あなたのお子様の学校では、地域の特性を生かした学校行事の工夫などがされていますか。	思う	やや思う	やや 思わない	思わない	どちらとも いえない
		64	158	97	67	98
		13.2%	32.6%	20.0%	13.8%	20.2%

3 これからの学期制について

問9	二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない	
		50	99	91	112	133	
		10.3%	20.4%	18.8%	23.1%	27.4%	
問10	二学期制と三学期制のどちらに賛成か。	二学期制	やや二学期制	やや三学期制	三学期制	どちらともいえない	
		62	49	112	199	67	
		12.7%	10.0%	22.9%	40.7%	13.7%	
問11	二学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	子供と向き合う時間の確保の視点	変更の必要性を感じない	2学期制が定着している	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れている
		13	27	57	49	12	2
		8.1%	16.9%	35.6%	30.6%	7.5%	1.3%
問11	三学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	通知票をもらう回数が多いから	三学期制の市町村が多いから	受験や進学に有利と思う	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れていない
		34	206	8	104	86	108
		6.2%	37.7%	1.5%	19.0%	15.8%	19.8%
	問11に関してその他の記述意見。	別に記載					
問12	全体を通してその他の記述意見。	別に記載					

4 学期制の検討に関連して長期休暇に対する意識について

問13	学期制の検討に連動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。	賛成	やや賛成	やや反対	反対	どちらともいえない
		76	135	61	52	144
		16.2%	28.8%	13.0%	11.1%	30.8%

キ 教員アンケート集計（詳細）

（全教職員 1/2）

豊見城市立学校の学期制の検討に係る教職員アンケート集計

アンケート実施期間 平成29年11月24日（金）～ 11月30日（木）

アンケート対象 豊見城市立幼小中全教職員

1 あなた（回答者）のことにについて

問1	回答者数	376				
問2	回答者年代	20代	30代	40代	50代以上	
		85	102	112	78	
		22.6%	27.1%	29.8%	20.7%	
問3	3学期制勤務経験	あり		なし		
		266		110		
	70.7%		29.3%			
	(ありの時の勤務校数)	1校	2校以上	/		
		46	205			
12.2%		54.5%				
(" 勤務年数)	9年以下	10年以上				
	133	116				
35.4%		30.9%				

2 これまでの二学期制について

問4	二学期制は、時数確保に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		189	82	22	20	61
		50.5%	21.9%	5.9%	5.3%	16.3%
問5	二学期制は、基礎基本の定着に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		135	110	32	28	70
		36.0%	29.3%	8.5%	7.5%	18.7%
問6	二学期制は、絶対評価を行うことについて効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		130	114	37	18	76
		34.7%	30.4%	9.9%	4.8%	20.3%
問7	二学期制は、夏休み前の時間の確保による適切な指導を行うことに効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		155	99	39	24	58
		41.3%	26.4%	10.4%	6.4%	15.5%
問8	二学期制は無理のない効果的な学校行事の実施に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		112	113	51	39	60
		29.9%	30.1%	13.6%	10.4%	16.0%

3 これからの学期制について

問9	二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない	
		219	88	15	19	36	
		58.1%	23.3%	4.0%	5.0%	9.5%	
問10	二学期制と三学期制のどちらに賛成か。	二学期制	やや二学期制	やや三学期制	三学期制	どちらともいえない	
		216	53	42	31	34	
		57.4%	14.1%	11.2%	8.2%	9.0%	
問11	二学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	子供と向き合う時間の確保の視点	変更の必要性を感じない	2学期制が定着している	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れている
		51	171	80	80	3	42
		11.9%	40.0%	18.7%	18.7%	0.7%	9.8%
	三学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	通知票をもらう回数が多いから	三学期制の市町村が多いから	受験や進学に有利と思う	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れていない
		5	50	8	10	37	16
		4.0%	39.7%	6.3%	7.9%	29.4%	12.7%
	問11に関してその他の記述意見。	別に記載					
問12	全体を通してその他の記述意見。	別に記載					

4 学期制の検討に関連して長期休暇に対する意識について

問13	学期制の検討に運動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。	賛成	やや賛成	やや反対	反対	どちらともいえない
		23	55	62	117	103
		6.4%	15.3%	17.2%	32.5%	28.6%

豊見城市立学校の学期制の検討に係る教職員アンケート集計

アンケート実施期間 平成29年11月24日(金) ~ 11月30日(木)

アンケート対象 豊見城市立幼稚園教職員

1 あなた(回答者)のこについて

問1	回答者数	41				
問2	回答者年代	20代	30代	40代	50代以上	
		18	14	5	4	
		43.9%	34.1%	12.2%	9.8%	
問3	3学期制勤務経験	あり		なし		
		6		34		
	14.6%		82.9%			
	(ありの時の勤務校数)	1校	2校以上	/		
		3	0			
7.3%		0.0%				
(" 勤務年数)	9年以下	10年以上				
	3	0				
7.3%		0.0%				

2 これまでの二学期制について

問4	二学期制は、時数確保に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		2	5	6	5	22
		5.0%	12.5%	15.0%	12.5%	55.0%
問5	二学期制は、基礎基本の定着に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		3	6	2	7	22
		7.5%	15.0%	5.0%	17.5%	55.0%
問6	二学期制は、絶対評価を行うことについて効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		3	4	4	3	26
		7.5%	10.0%	10.0%	7.5%	65.0%
問7	二学期制は、夏休み前の時間の確保による適切な指導を行うことに効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		3	8	6	5	18
		7.5%	20.0%	15.0%	12.5%	45.0%
問8	二学期制は無理のない効果的な学校行事の実施に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		3	9	6	6	16
		7.5%	22.5%	15.0%	15.0%	40.0%

3 これからの学期制について

問9	二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない	
		4	9	3	7	18	
		9.8%	22.0%	7.3%	17.1%	43.9%	
問10	二学期制と三学期制のどちらに賛成か。	二学期制	やや二学期制	やや三学期制	三学期制	どちらともいえない	
		6	6	6	14	9	
		14.6%	14.6%	14.6%	34.1%	22.0%	
問11	二学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	子供と向き合う時間の確保の視点	変更の必要性を感じない	2学期制が定着している	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れている
		0	3	8	4	0	0
		0.0%	20.0%	53.3%	26.7%	0.0%	0.0%
	三学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	通知票をもらう回数が多いから	三学期制の市町村が多いから	受験や進学に有利と思う	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れていない
		1	13	1	5	13	7
2.5%	32.5%	2.5%	12.5%	32.5%	17.5%		
問11に関してその他の記述意見。	別に記載						
問12	全体を通してその他の記述意見。	別に記載					

4 学期制の検討に関連して長期休暇に対する意識について

問13	学期制の検討に運動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。	賛成	やや賛成	やや反対	反対	どちらともいえない
		4	10	3	4	19
		10.0%	25.0%	7.5%	10.0%	47.5%

問11記述(幼稚園教員)

主な分類	2学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	3学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	どちらともいえない回答者の記述意見
授業時数確保			
基礎基本の定着			
適切な評価			
夏休み前の時間確保 (教師と子供の向き合う時間確保)			
適切な学校行事 教師の働き方			
その他		○夏休みが終わっても、まだ学期が続いているので、気持ちのけじめがないように感じる。夏休みが中だるみになってしまっているのではないかと。もったいない休業を過ごしている気がする。 ○幼稚園で子供たちに1学期後半、2学期前半とかを説明するよりは、しっかり終えて始まりがある方が、意識やきりかえがちゃんとできるかなと思いました。	

問12記述(幼稚園教員)		
2学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	3学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	どちらともいえない回答者の記述意見
<p>○今年度は、秋休みが2日間という、仕事を集中して終わらせる時間があまり無かったため、夏休みと秋休みで日数を調整できるようにして欲しい。書類、クラスだより、会議、環境整備がある為、秋休み2日間というのは、あまり良いと感じられなかった。</p>	<p>○子ども達の生活に即した取り組みになってないため反対、3学期制にすることで、子ども達が評価に対する改善の場が増え良い。</p> <p>○小学校はどうなのかわかりませんが、幼稚園は2学期制、3学期制どちらでもあまり変わらないと思います。4歳児に関しては、せつかく園生活のリズムに慣れてきたら、またすぐに秋休みになってしまい…というのが生活の流れが途切れてしまうように感じるので、3学期制の方がいいのかなと思いました。</p>	

豊見城市立学校の学期制の検討に係る教職員アンケート集計

アンケート実施期間 平成29年11月24日(金) ~ 11月30日(木)

アンケート対象 豊見城市立小学校教職員

1 あなた(回答者)のことについて

問1	回答者数	239				
問2	回答者年代	20代	30代	40代	50代以上	
		53	61	78	48	
		22.2%	25.5%	32.6%	20.1%	
問3	3学期制勤務経験	あり		なし		
		179		61		
		74.9%		25.5%		
	(ありの時の勤務校数)	1校	2校以上	/		
		30	141			
		12.6%	59.0%			
(" 勤務年数)	9年以下	10年以上				
	94	75				
	39.3%	31.4%				

2 これまでの二学期制について

問4	二学期制は、時数確保に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		148	47	11	8	25
		61.9%	19.7%	4.6%	3.3%	10.5%
問5	二学期制は、基礎基本の定着に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		110	75	17	8	29
		46.0%	31.4%	7.1%	3.3%	12.1%
問6	二学期制は、絶対評価を行うことについて効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		101	80	18	6	34
		42.3%	33.5%	7.5%	2.5%	14.2%
問7	二学期制は、夏休み前の時間の確保による適切な指導を行うことに効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		127	62	18	7	25
		53.1%	25.9%	7.5%	2.9%	10.5%
問8	二学期制は無理のない効果的な学校行事の実施に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		89	71	31	19	29
		37.2%	29.7%	13.0%	7.9%	12.1%

3 これからの学期制について

問9	二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない	
		164 68.3%	49 20.4%	6 2.5%	7 2.9%	14 5.8%	
問10	二学期制と三学期制のどちらに賛成か。	二学期制	やや二学期制	やや三学期制	三学期制	どちらともいえない	
		166 69.5%	28 11.7%	20 8.4%	8 3.3%	17 7.1%	
問11	二学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	子供と向き合う時間の確保の視点	変更の必要性を感じない	2学期制が定着している	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れている
		46 15.0%	135 44.1%	42 13.7%	51 16.7%	1 0.3%	31 10.1%
	三学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	通知票をもらう回数が多いから	三学期制の市町村が多いから	受験や進学に有利と思う	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れていない
		1 2.2%	21 45.7%	5 10.9%	1 2.2%	14 30.4%	4 8.7%
	問11に関してその他の記述意見。	別に記載					
問12	全体を通してその他の記述意見。	別に記載					

4 学期制の検討に関連して長期休暇に対する意識について

問13	学期制の検討に連動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。	賛成	やや賛成	やや反対	反対	どちらともいえない
		11 4.8%	27 11.8%	42 18.4%	88 38.6%	60 26.3%

問11記述(小学校教員)

主な分類	2学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	3学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	どちらともいえない回答者の記述意見
授業時数確保	<p>○夏休み、冬休み前後に通常授業できるのはとても良い。3学期制の時は、評価に追われ、下位の児童への指導が十分できなかった。じっくり指導できる2学期制の方がよい。</p> <p>○よい子の歩みが1つ減り7・12月に授業が行えることは、ゆとりを持って授業が行える。さらに長期的な学習もしやすい。問題は良さを打ち消す行事の配置、校内研、Webテスト標準学力テストなど教育課程を圧迫する内容が多く入っている。</p>		
基礎基本の定着	<p>○子どもたち一人一人の学力を見取り、テストに追われずに長期的スパンで学習活動を計画実施できているから</p>		
適切な評価	<p>○個人面談において、テスト結果を保護者に伝える機会が設けられている。</p>		
夏休み前の時間確保(教師と子供の向き合う時間確保)	<p>○2学期制は、学力向上のみだけでなく、教師が児童と向き合う時間もとれるので、市内の学校に行くと、あいさつが上手で学習態度の良い姿が多く見られるので、礼儀正しく素直な児童の育成にもつながっていると思います。</p> <p>○夏休み前の時間確保に2学期制がよい。</p> <p>○カリキュラムもいろいろ変容していく中で、これ以上多忙になると本当に大変である。夏休み前、年末に成績処理があるのとないのとでは大違い。2学期制に賛成である。</p> <p>○評価する際[成績処理の時間]の多忙感は2学期制だと多少余裕ができる。</p> <p>○3学期制は夏休み、冬休み前後に終業式、始業式があつてけじめがあつてよいと思つたが、実際に2学期制を体験すると触れ合う時間、時数の確保ができ2学期がよい。生徒指導面でも3学期制は「2学期」が長いので、子ども同士のトラブルが起こりやすい。2学期制は秋休みがあるので、ワンクッションとなりトラブルが起こりにくいように経験上思う。</p> <p>○3学期制だと7月は評価のための月となり、時数の確保が難しい。授業がストップする。3学期制だとサマースクールの課題作成が中途半端な課題となってしまう。</p> <p>○学期末の成績処理に終わって、個別の時間確保が難しくなるので、2学期制に賛成です。</p> <p>○職務が軽減される。②と似ているが、学習にゆとりがある。(期末に終わらない)</p> <p>○2学期制のいまでも、多忙化は解消されず、いかに時間を生み出せるか、現場では週時程の見直し等、工夫を重ねている状況です。3学期制になれば、学期末成績処理の負担増、7・12月に行事実施ができなくなることによる授業時数減や児童と向き合う時間減等、2学期制よりもマイナスな面が増えることが十分に考えられます。他町村の動向に合わせた安易な学期制変更には賛成しかねます。2学期制の大きな成果である、児童・生徒の県や全国レベルの高い学力の維持も3学期制では厳しいと思います。</p> <p>○余裕を持って児童に接することができる。</p> <p>○教師のゆとり・多忙感の違い・余裕ゆとりを持って児童と接することができる。</p>		
適切な学校行事	<p>○行事も2学期制がスムーズ</p> <p>○2学期をもとに作られた学校行事の配置、在り方を見直さないといけなくなる。子どもも保護者も慣れたなかで再計画するのは気になる。11月～12月にかけての諸テストの取組は2学期制だからできる。3学期制だと、授業の進行、成績処理で難しい。</p> <p>○1学期に運動会、2学期に学習発表会と区切れが良い。</p>		
教師の働き方	<p>○教師の負担軽減になる。</p> <p>○3学期制の学校では、年3回の成績処理で多忙感がありましたが、2学期制の学校では、夏休み中に「よい子のあゆみ」の検討をすることができ、夏休み明けもゆとりをもって成績処理を行うことができた。また、学校行事への準備等や取組の面でも2学期制の方がよいと思う。</p> <p>○教員の多忙化を改善するためには、2学期制が良い。到達度、学力テスト等が多く、対策しながらの成績処理は大変。</p> <p>○3学期制に戻すと職員の負担が多くなる。職員の働きやすい環境のためにも2学期制の存続をお願いします。</p>	<p>○夏休みにも、10月にも12月にも3月にも反省や状況調査などがあり、業務の改善とは言えない。管理職によっては、余計に職員の負担を増やしている。</p>	<p>○成績2回で事務の効率化</p>
その他	<p>○中学校のテスト回数を多くできれば、両方2学期制でもよい。</p> <p>○3学期に戻すなら、2学期制を導入した責任者が「効果がありませんでした」という公的な文書や教職員・保護者に向けた言葉が必要だと思う。</p>	<p>○長期休み前にリセットするためにも3学期制</p> <p>○児童の夏休み明けのダラダラ感がある(しまりがない)通知表が2回なのはよい。儀式が少ない、1時間取らず短い時間(朝会)で行うのは良い。</p> <p>○2学期制は教師の多忙化の改善にはとてもいいと思う。しかし夏休み前後に終業式、始業式をもつことで、長期休暇入り、明けのメリハリがつくことや、秋休みの出勤日2日しかなく、その間に陸上等の練習を行いながら、学期間の準備を行う繁忙さを考えると、3学期制の方がよいのではないかと考える。</p>	<p>○いずれの学期にせよ、次年度からの外国語活動を導入するにあたり、時数の確保及び職員の負担軽減を考えると、夏休みを少し短くすることを</p>

問12記述(小学校教員)		
2学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	3学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	どちらともいえない回答者の記述意見
<p>○秋休みは1週間はほしい。</p> <p>○評価や事務作業など、職員の負担を考えると2学期制がいいと思います。</p> <p>○教師の負担軽減になる。</p> <p>○休暇の確保。</p> <p>○2学期制でない、事務的な作業が増え、オーバーワークになることが予想される。</p> <p>○夏休みももう2、3日早めに終り、その分秋休みを伸ばした方がいいと思う。あまりにも秋休みが短いので学期の境目が半端な感じがする。</p> <p>○2学期制の方が良いと思うが、1学期の終了から2学期の開始までの期間(秋休み)が短いため、気持ちを新たに2学期のスタートを切ることが難しい。秋休みを少し長くすることができれば良いと思います。那覇地区などは長いと聞いているので、可能であれば、取り入れられたらと思う。</p> <p>○2学期制の導入時は、慣れないことや暑い時期が長い本県に合っているのか十分な説明が無く不安が大きかったので、反対でした。ようやく慣れて2学期制の長所を感じ始めた頃にまた3学期制に戻る・・・決定したら、現場は従うほかありませんが、ただでさえ新しい変化が大きいときに加えて、3学期制の準備もとなると負担が大きいです。</p> <p>○気温が高くなる沖縄の夏は、学習にふむきです。室内外共に熱中症の危険もあります。夏休み期間を短縮しても子供達には利はないのでは？</p> <p>○2学期の継続をお願いします。</p> <p>○教師も休みなのではないですか？(有給休暇が取れる状況にしてほしいです)</p> <p>○[教職員の多忙化]に関しては、学期制以外のことが大きく影響していると思う。アンケート多・研修会レポート作成・福祉関係との連携・部活動等・・・。</p> <p>○行事を9月～12月に集中しているため教育課程を進める上で余裕がなくなっている。特に、9月は夏休み明け、運動会、学期末、陸上と子どもにとっても担任にとってもやるが多すぎる。10月は学期スタートの中、校内研修の全体授業、市訪問、陸上とやはり、学期スタートの学級作りの期間にやるが多すぎる。そこに、Webテスト、入力なども入ると学力の向上、授業改善を求めるには無理がある。人それぞれにライフスタイルがあるので、働き方として、常に無理を求めている、将来きびしくなるのでは？</p>	<p>○学校の日課にゆとりがない。働き方改革を望む。</p> <p>○3学期制の市町村の学校で夏季休業中の個人面談があると聞きました。3学期制で夏休み前によい子のあゆみを作成して保護者に渡すのであれば、2学期制と同様の個人面談では負担が大きくなると思います。だから、3学期制へ移行するのであれば、事務が増えてしまう分、他の業務が精選されるようお願い致します。</p> <p>○3学期制にはやや賛成ですが、通知表は校務支援システム(スズキ校務)を活用できるといいです。</p>	<p>○2学期制は、職員の多忙化の改善には十分有用だったと思います。外国語、道徳の教科化等により指導と評価、よい子のあゆみへの記述が増えると考えれば2学期制の継続が良いと思う反面、子供達のメリハリある学期制としては3学期制の良さもあります。指導、評価過多になり過ぎないような、よい子のあゆみの在り方、記述欄の工夫などあるといいと思います。</p>

豊見城市立学校の学期制の検討に係る教職員アンケート集計

アンケート実施期間 平成29年11月24日(金) ~ 11月30日(木)

アンケート対象 豊見城市立中学校教職員

1 あなた(回答者)のこについて

問1	回答者数	96				
問2	回答者年代	20代	30代	40代	50代以上	
		14	27	29	26	
		14.6%	28.1%	30.2%	27.1%	
問3	3学期制勤務経験	あり		なし		
		81		15		
		84.4%		15.6%		
	(ありの時の勤務校数)	1校	2校以上	/		
		13	64			
		13.5%	66.7%			
(" 勤務年数)	9年以下	10年以上				
	36	41				
	37.5%	42.7%				

2 これまでの二学期制について

問4	二学期制は、時数確保に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		39	30	5	7	14
		41.1%	31.6%	5.3%	7.4%	14.7%
問5	二学期制は、基礎基本の定着に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		22	29	13	13	19
		22.9%	30.2%	13.5%	13.5%	19.8%
問6	二学期制は、絶対評価を行うことについて効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		26	30	15	9	16
		27.1%	31.3%	15.6%	9.4%	16.7%
問7	二学期制は、夏休み前の時間の確保による適切な指導を行うことに効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		25	29	15	12	15
		26.0%	30.2%	15.6%	12.5%	15.6%
問8	二学期制は無理のない効果的な学校行事の実施に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない
		20	33	14	14	15
		20.8%	34.4%	14.6%	14.6%	15.6%

3 これからの学期制について

問9	二学期制は、教職員の多忙化の改善に効果があったと思うか。	思う	やや思う	やや思わない	思わない	どちらともいえない	
		51	30	6	5	4	
		53.1%	31.3%	6.3%	5.2%	4.2%	
問10	二学期制と三学期制のどちらに賛成か。	二学期制	やや二学期制	やや三学期制	三学期制	どちらともいえない	
		44	19	16	9	8	
		45.8%	19.8%	16.7%	9.4%	8.3%	
問11	二学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	子供と向き合う時間の確保の視点	変更の必要性を感じない	2学期制が定着している	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れている
		5	33	30	25	2	11
		4.7%	31.1%	28.3%	23.6%	1.9%	10.4%
	三学期制へ賛成、やや賛成の理由。	学力の現状から	通知票をもらう回数が多いから	三学期制の市町村が多いから	受験や進学に有利と思う	社会慣習や生活スタイルと合っている	2学期制に移行した効果が表れていない
		3	16	2	4	10	5
		7.5%	40.0%	5.0%	10.0%	25.0%	12.5%
	問11に関してその他の記述意見。	別に記載					
問12	全体を通してその他の記述意見。	別に記載					

4 学期制の検討に関連して長期休暇に対する意識について

問13	学期制の検討に連動して夏休み期間の見直しが行われるとした場合どう考えるか。	賛成	やや賛成	やや反対	反対	どちらともいえない
		8	18	17	25	24
		8.7%	19.6%	18.5%	27.2%	26.1%

問11記述(中学校教員)			
主な分類	2学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	3学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	どちらともいえない回答者の記述意見
授業時数確保			
基礎基本の定着	○3学期制を望む意見の多くが「学力」をあげていた。学力はクリアできていると思うので変更の理由にならない。	○2学期制だと、1学期期末テストが夏休み明けにあるが、身に付いた内容が夏休みで忘れられているのでテストしても、身に付いたかどうか確認できない。三者面談の時に、2学期制だと、通知表がないので、保護者と、成績の話が出来ない。テスト範囲が広いいため、テストの内容が難しい。 ○テストが多い分復習の機会が増える。	
適切な評価	○中学校における評価のあり方を今後検討していかなければならない。定期テストに重きを置きすぎる。せっかく2学期制をしているのに、いろいろな行事や総一テスト等の実施等で、内容的には、3学期制と同じ取り組みがなされている。2学期制のうまみを最大限に生かせる仕組みが必要である。		
夏休み前の時間確保(教師と子供の向き合う時間確保)	○本校では、長期(夏休み前)に教育相談を全体的に実施しており成果が見られます。学力だけでなく、生徒が前向きに学校生活を過ごすうえで、教育相談をこの時期に持てるのは休み前に有効です。3学期制ではその時間の確保は厳しくなります。もっと生徒と触れあい、活動する時間の確保が必要である。Webテスト導入などテスト実施・採点、入力等業務が増えている中、更にテストが増え、時間が取られて、授業の質が落ちているような気がします。 ○夏休み前は県大会への部活指導や学校行事、冬休み前は推薦判定など、業務が多いので、その期間に負担が増えるのは特にまずい。 ○学習状況の改善や学力向上、評価などは、正直言って2学期も3学期も変わらないと思う。もし変えたいなら、教職員の質を上げるしかない。現状として、2学期制度の方が、長期休暇の前に通知表作成しなくて良いので時間的に楽。その時間で他の業務が行える。 ○通知表作成が1回減るから ○丁寧に教えることができる。通知表が2回で良い。		○通知表の作成が改善される。デメリットもある。
適切な学校行事	○行事が分散されてよい。		
教師の働き方	○学期末の事務を長期休暇中に出来るという点で教員の多忙感が多少軽減される気がする。 ○勤務地域が2学期制は初めて経験していますが、教師側として、事務や諸書類等手続きすることが軽減されて、とても心身共に余裕があってとても良いです。是非今後とも2学期制にして頂きたいです。	○子供の生活や学習でのメリットとして3学期制はめりはりをつけられてとても良いと思う。しかし、成績をつけたり、特に通知表作成で担任の負担が大きく、5教科の先生方の負担も大きく感じられる。(テスト等)先生方の多忙感、負担感が改善されるなら3学期制が良いと思う。	
その他	○2学期制、3学期制の両方で勤務経験があるが、圧倒的に2学期制の方がゆとりがあり、生徒に還元できることも多いと思う。3学期制だとずっとテスト、評価、通知票に追われていた。2学期制は定期テストの実施回数は減るが単元テストなどで、その都度、評価することもできるので、生徒が不利になることもない。学力面でも市内の学力は本島の他の市町村と比べても高いように感じられる。 ○秋休みを短くして、9月から1学期後半を始めるのはどうでしょうか。 ○教科の特性から2学期制が合っている。 ○どちらも多忙感は変わらない。	○2学期制は学期毎が長く、生徒にとっては節目がはっきりしない。テスト範囲も広くなり、生徒にとっては負担も大きい。生徒にとっては目標を設定して短く評価してもいいのではないか。実際、2学期制で試験が少ない分、単元テスト(小テスト)を実施できるかは教科の時数によってはほとんど3学期制と変わらない教科もある。 ○生徒にとって気持ちのメリハリがつけやすい。 ○メリハリがつく。 ○3学期制にしてテストを多くすると意欲が高まる。	

問12記述(中学校教員)		
2学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	3学期制に対し肯定的な回答者の記述意見	どちらともいえない回答者の記述意見
<p>○アンケートはあまりやらず、市教委のリードでやっていいと思います。</p> <p>○三者面談で「2学期制をとっているのはどうしてか？テスト範囲も広く、メリットを感じない」という質問があったので、回答に困ってしまいました。</p> <p>○クーラーがない状態では夏休み期間を変えるのは厳しいと思います。</p> <p>○地区で行う行事の際に(例えば地区陸上等)、地区内の学校で2学期制と3学期制が混在していることがおおきな課題であると感じる。地区の行事の多くは、2学期制が導入される前から実施されていることが多く、3学期制に合わせて目標が決められているように思う。よって、私は2学期制に賛成であるが、そのような課題も話し合いで良い方向に進めて頂きたい。</p> <p>○授業時間、時数や生徒と向き合う時間の確保または、教職自身が自分の家族との時間を大切にするためには、2学期制の継続は必須であると考えます。</p> <p>○生徒的にはテストの間隔が長くなるので3学期制の方が良いと思うが、教職員の負担軽減をするなら2学期制度の方が良いと思います。</p> <p>○保護者のほとんどが3学期制の経験者なので保護者の意見だけを参考にするのはやめてほしい。</p> <p>○生徒のためにも2学期制を希望する。</p>	<p>○従来の通知票のあり方を見直した形なら、教師の負担軽減になると考える。定期テストの実施も、中間、期末という形ではなく第1回～5回までを学期をまたがる等して考えてもよいのではないかと思う。成績、出席状況など事実のみを記載し所見は3学期の最後に限るなど工夫が必要。</p> <p>○通知票を家へ持ってくるのは、我が家にとって特別でした。夕食の時、家族全員で兄弟(4人)の通知票を親が点検し、学期で頑張ったこと、頑張らなかつたこと、叱咤激励を受け、次の学期の意欲づけとなりました。そして、最後に母親がトーターメーに子どもたちの通知票を開いてうさぎるのでした。このような古き良き習慣が自分が親となった現在、寂しいものになりました。2学期制は教職員のためのものであり、子を持つ親にとっては無益な代物です。教職員の3学期制による校務負担過重をとるか親子(家族)の絆(団らん)をとるかと言われれば、私は後者をとります。</p> <p>○3学期制は通知表の様式の工夫が必要。</p>	<p>○2学期制、3学期制どちらも経験があります。通知票作成に関する多忙の軽減には2学期制がいいのですが、その他に関しては2学期制のメリットを強く感じることはないというのが本音です。どちらがいいのか迷います。</p>

(5) 豊見城市立学校学期制審議会規則

豊見城市教育委員会規則第4号

豊見城市立学校学期制審議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、豊見城市附属機関の設置に関する条例（平成16年豊見城市条例第18号）第3条の規定に基づき、豊見城市立学校学期制審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(担当事務)

第2条 審議会は、教育委員会の諮問に応じて、豊見城市立学校の学期制に関し必要な事項を審議し、答申する。

(組織)

第3条 審議会は、委員10人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱又は任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 市立学校の校長及び教頭
- (3) 市立幼稚園教頭
- (4) 市立学校のPTA関係者
- (5) その他教育委員会が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は、諮問に係る審議が終了するまでの間とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に、会長及び副会長1人を置き、委員の互選でこれを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会は、会長が招集し、会長は会議の議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 会長は、会議における審議の参考に供するため、必要と認める場合には、委員でない者を会議に出席させ、意見を述べさせることができる。

(庶務)

第7条 審議会の庶務は、学校教育部学校教育課において処理する。

(雑則)

第8条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日（平成29年6月20日）から施行する。

(会議の招集に関する特例)

2 この規則の施行後、最初に開会する審議会は、第6条第1項の規定にかかわらず、教育長が招集する。

(6) 豊見城市立学校学期制審議会委員名簿

#	役職	氏名	所属等
1	会長	白尾 裕志	琉球大学大学院教育学研究科（教職大学院） 准教授
2	副会長	森 力	琉球大学教育学部附属教育実践総合センター 准教授
3	委員	玉城 勝	豊見城市立座安小学校長
4	委員	柳井 倉人	豊見城市立伊良波中学校長
5	委員	小美野 純一	豊見城市立ゆたか小学校 PTA 会長
6	委員	上原 直彦	豊見城市立伊良波中学校 PTA 会長
7	委員	外間 喬	豊見城市子ども会育成連絡協議会会長
8	委員	入稻福 尚	豊見城市スポーツ少年団本部長

